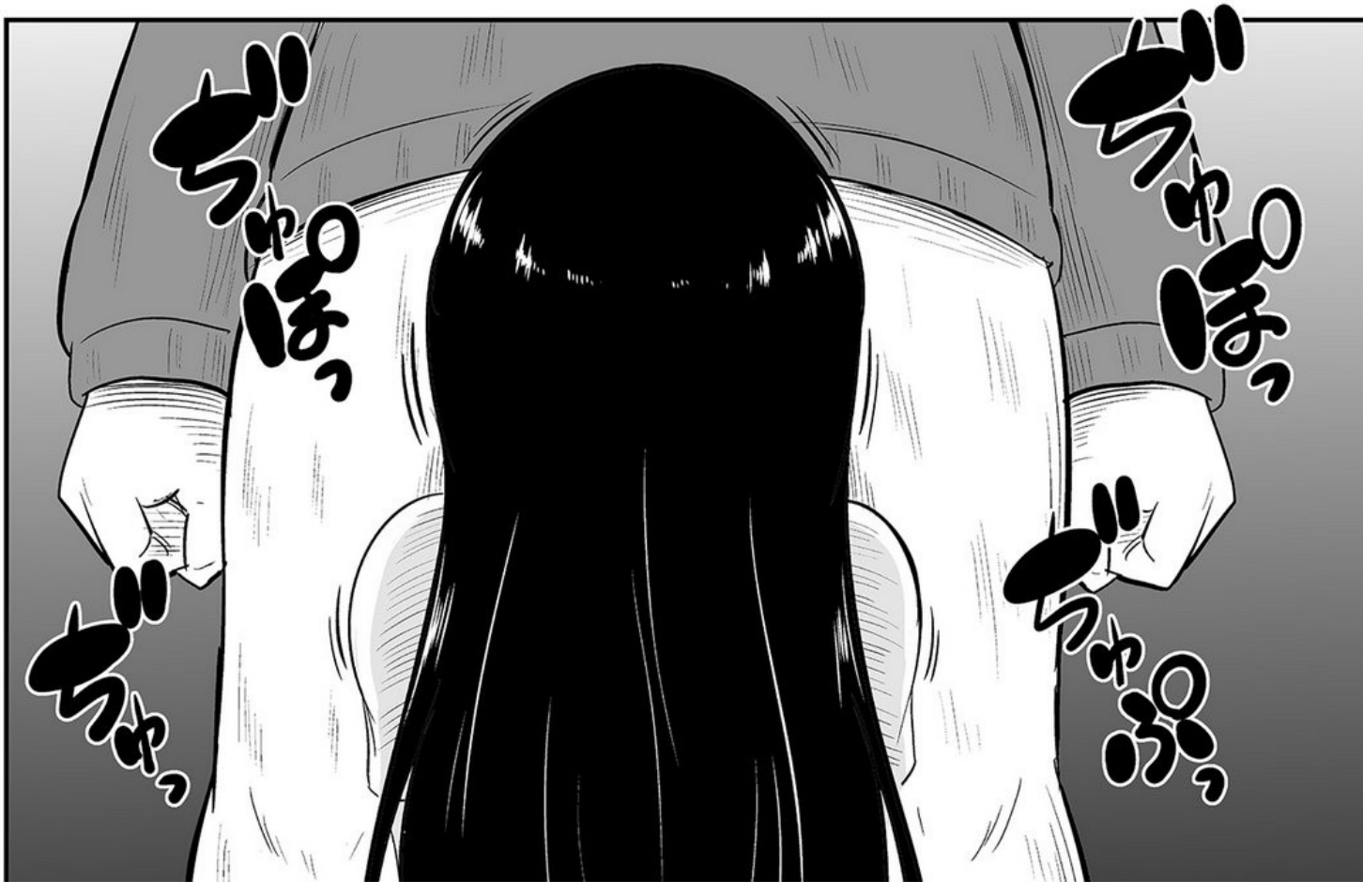

僕の彼女はNTR(ねとられ)いるのだろうか
単行本版
2
漫画・・・井口千太郎
原作・・・田中静人／テラーノベル


ムワ…
ムワァ…
さっさと
しゃぶれ
ドキ…
ドキ…
うっ…
くさいか？
暑くて
蒸れたしなぁ
だが
やらなくて
いいのか？
…っ


このままだと
柴田が
お前の痴態を
知ることになるぞ
や…
やります！
あ…ッ
ちゅぽっ
ピクッ
おほぉ！


ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ


いいぞぉ…
舌も使え
レロ
レロ
レロ…
レロ
レロ
ぢゅっ
ぢゅっ
商売女と比べたら
下手くそだが
この
慣れていない
感じが
初々しくて良い


何より…
あの
桜木がやってる
事実に興奮する！
……
そういえば
桜木
ジュポ
ジュポッ
グポッ
ファーストキスは
済ませたのかぁ？
ニヤ
ニヤ
キッ
……

フェラしながら
睨んでも
興奮するだけだぞ

ハグハグ

ふる
ふる

いいのか？
答えないと
柴田に――

…!!

くくく
そうかぁ…

可哀想なことを
したなぁ

桜木楓香の
ファーストキスは

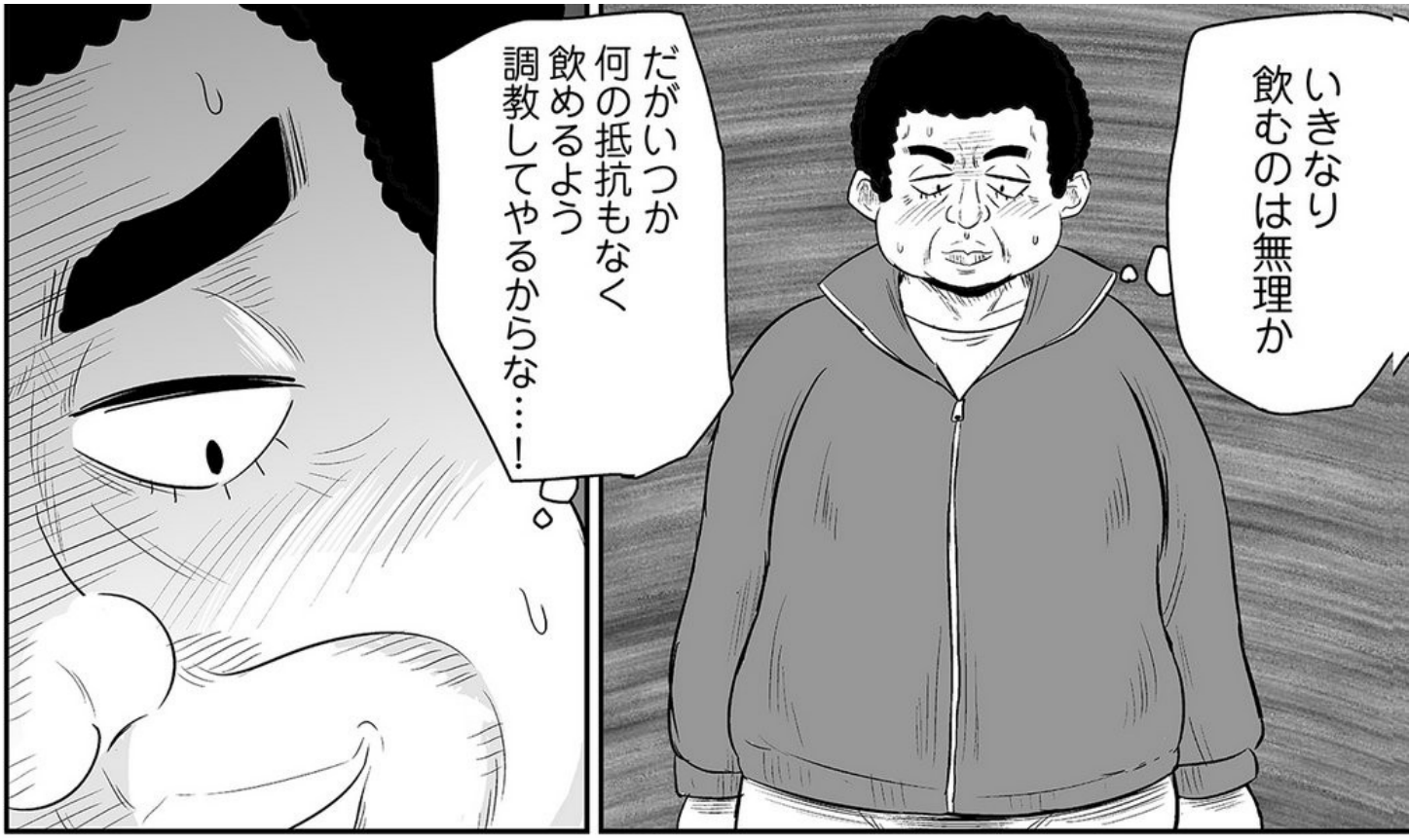
俺の＊＊＊＊だな！

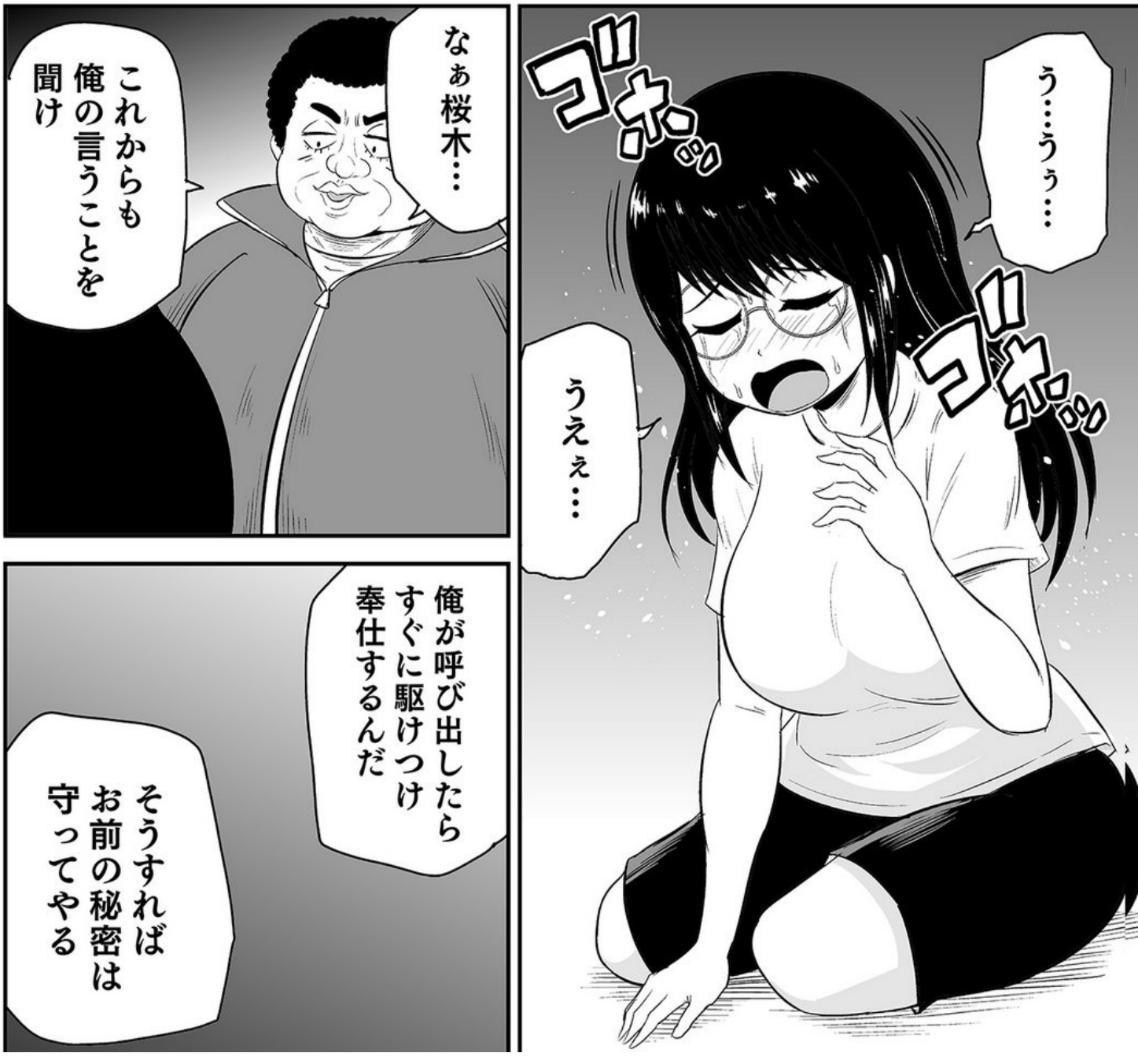

ポロ…
ポロ…


うおおお
おおおおッ!!
昇って
きたぞおおお!!
出すからしっかり
受け止めろ!
カク
ずっ
んっ
カク
ずっ
カク
んっ
ずっぽっ
ずっぽっ
ずっぽ


ぐぐぐぐぐ
ぐぐぐぐぐ
ドクンッ
ドクンッ
うぐっ
ぐっ
ドクンッ


はぁーっ
はぁーっ
はぁーっ
ふぅーーっ…
こんなに出たのは
久しぶりだ…
ウルッ
ゴホッ
ゴホッ
おえっ
うえ…
ゴホッ


いきなり
飲むのは無理か
だがいつか
何の抵抗もなく
飲めるよう
調教してやるからな…！


う…うぅ…
ゴホ…
ゴホ…
うえぇ…
なぁ桜木…
これからも
俺の言うことを
聞け
俺が呼び出したら
すぐに駆けつけ
奉仕するんだ
そうすれば
お前の秘密は
守ってやる


もちろん
それだけじゃない
内藤大樹から
脅迫されてたよな
あいつを
遠ざけてやろう
えっ…
ふふふ
俺に
従っている限り
柴田との甘酸っぱい
青春は守られる
……
クク…
まぁ少しの間の
辛抱だ…

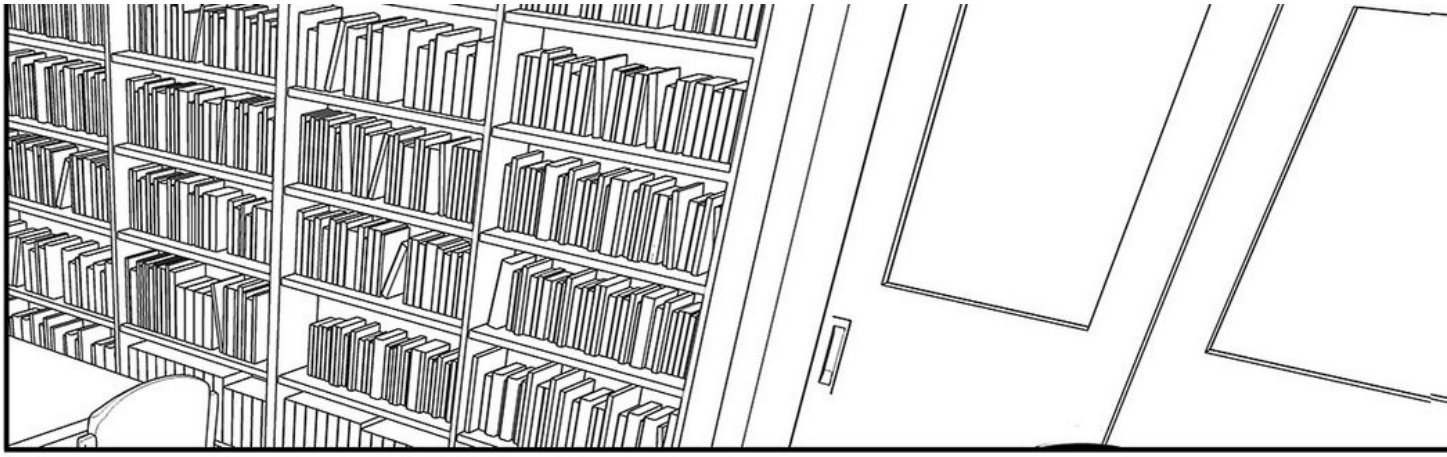

なんてな…
くくく…
お前のような
上玉を
手放してたまるか
調教しまくって
俺から
離れることの
できないような


ドスケベ女に
してやる…！
ニヤリ


ふーっ
さっき階段で
桜木さんと
すれ違ったんだけどさ
ガヤ
ガヤ
お、おいまさか
パンチラ
拝めたのか!?
ん…?
桜木…だと?


それがなぁ…
あとちょっとのところで見えなかった
もう少し屈めば見えたのになー
ライイ…
残念だったな
ニッ…
お前らが必死こいて見たがってるもの
俺は見放題なんだぜぇ!
逆に考えるんだ
見えなかったってことはそこになかったのと同義
つまり…
ノーパンの可能性が!?


そういうことだ！
わはははっ
なるほどノーパンか…
そういうプレイもありだな…！
放課後
やりたいことが
ドンドン増えるぜ
ぐいっ
…っとその前に生徒指導室に呼び出されたんだった…
ガチャ…
ちっ…篠田のヤツいったい何の用だ？
ブアアアアアアア…




……




楓香
やっぱり
元気がない…

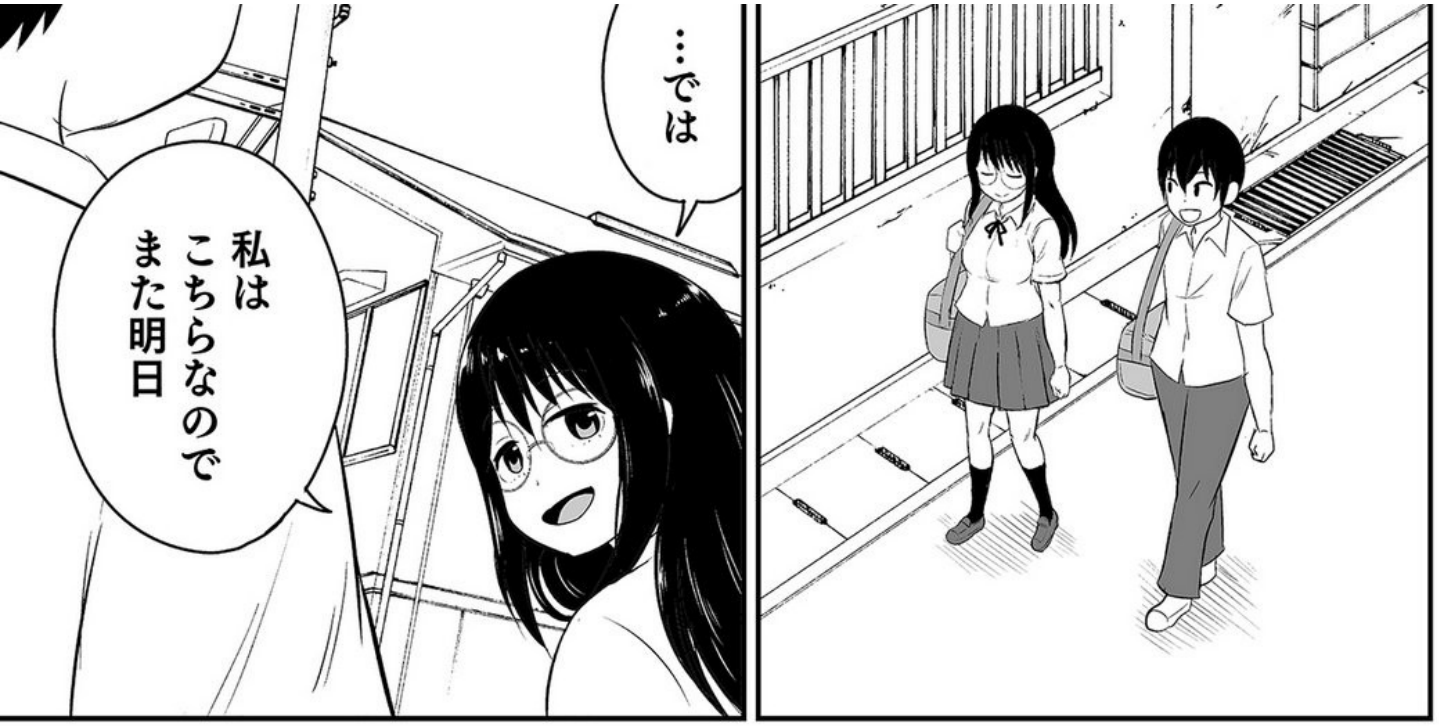

ねえ楓香…
やっぱり
何か
あったんじゃ…
!!


な
なんにもないです
お父さんと
ケンカしちゃって
それで
落ち込んでた
だけです…
本当に？
はい
そっか
もし…僕に
できることが
あれば言ってよ
…！


―えっと
…その…
……
ギュッ
ありがとう
ございます
でも…
今回の
ことは
家庭内の
ことなので
大丈夫です
……
そう！


で…
でも！
もし何かあったら
相談します！
だって
健一くんは
ニコッ
私の彼氏
ですもんね
う
うん！
いつでも
頼ってよ！


あっもう
こんな時間か
そろそろ
帰ろっか
今日も
断られるのかな…
…はい
帰りましょう
やった！
久しぶりに
一緒に帰れる！

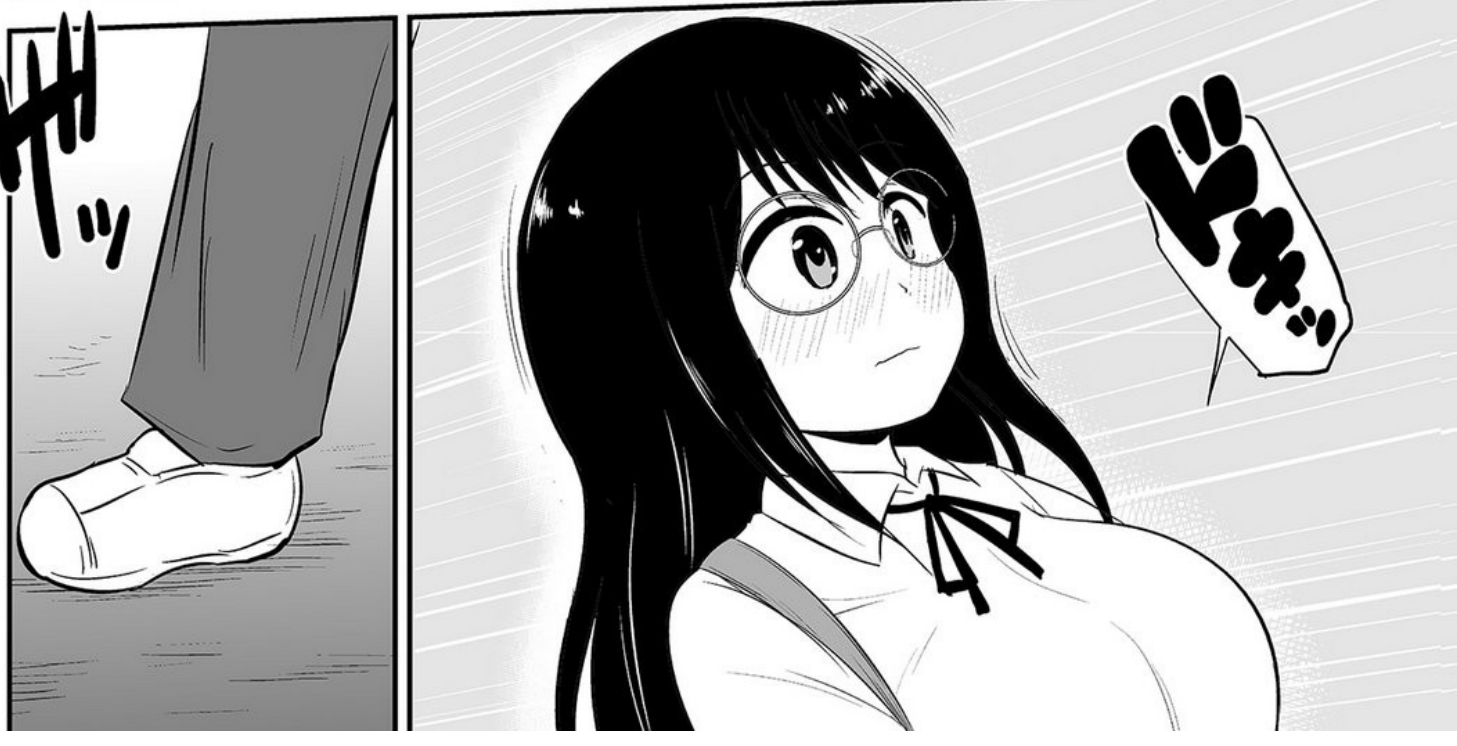

…では
私は
こちらなので
また明日


？
どうしました？
……


その…
――キス…
してもいいかな？
――っ！


この前できなくてごめん
その…そういうのしたことないから…怖くてさ…
ぐっ


でも
今ならできる


ドキッ
ザッ








これ
これ
――初キス
しちゃったね
あ
でも楓香は
どうなのか…
う！…
――私も





その涙は嬉しさから
出たものだと
そう思っていた

そう
思っていた

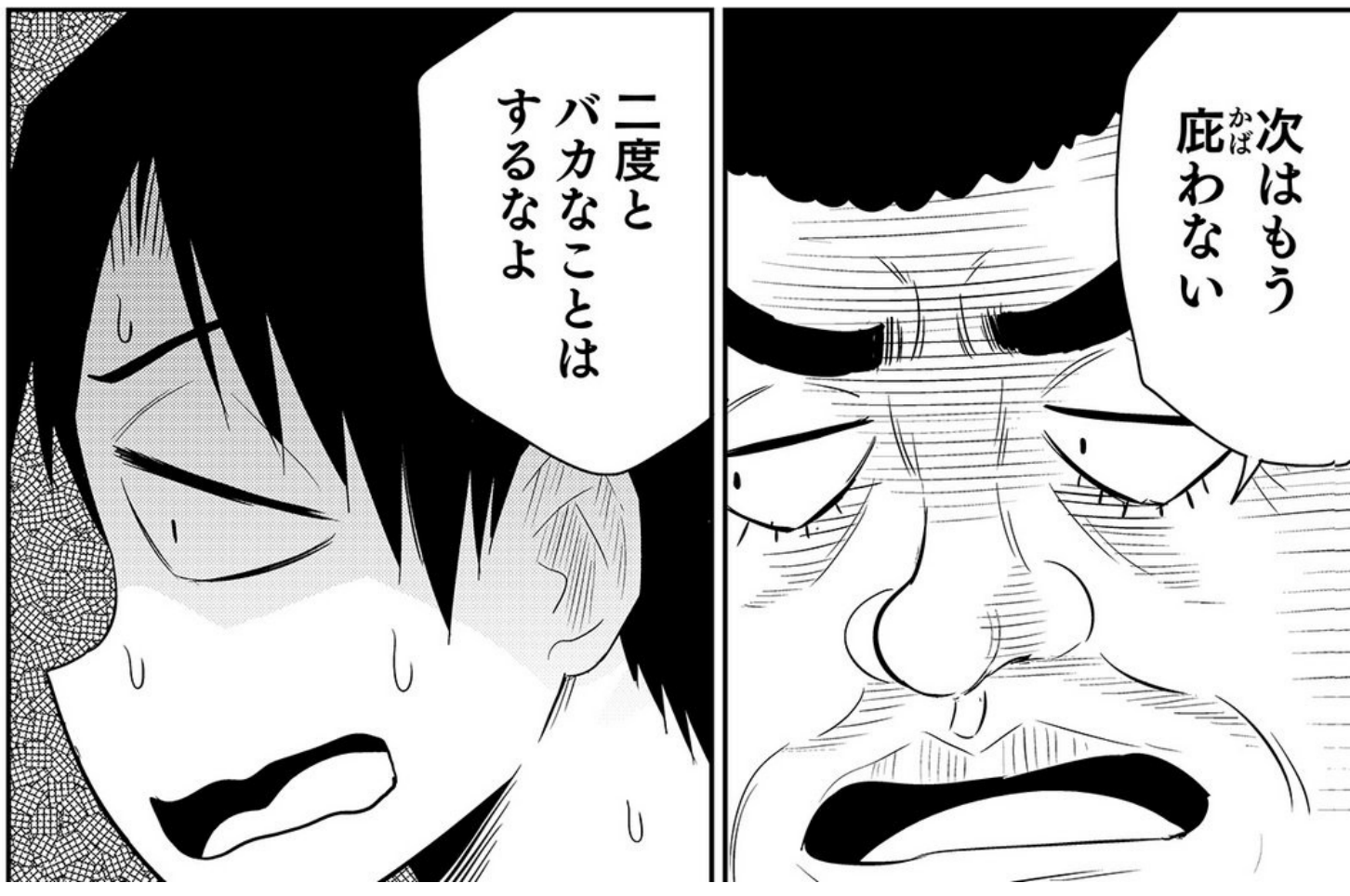
僕の彼女はNTR（ねとられ）ているのだろうか


まぁこれを
バラまかれたく
なかったら
00:01:25
これから
毎日ッ
俺の言うことに
従ってもらおう!!
あの…
それは?
桜木が
お前に脅迫
されたとき
念のため
録音して
いたそうだ
まぁ
ウソだがな


いかんなぁ
内藤
生徒指導室
女子を脅迫して
淫らな行為を
強要するとはなぁ
これが
公になったら
大問題だぞ
ドキッ
停学もありえるし
下手すりゃ
警察沙汰だ
あ…
う…
ど…
どうすれば
いいんですか!?
ゴクリ


こんなこと
バレたら…
オレの人生
終わっちまう…！
ふっ…
まあ
慌てるな
公になったら
まずいのは
学校も同じ
桜木が俺に
相談してくれて
良かったよ
俺は公にする
つもりはない
ハアアア…
あ
ありがとう
ございます…
だがな
内藤よ…
ポン


ビクッ
お前が
やったことは
許される
ことじゃない


次はもう
庇(かば)わない
二度と
バカなことは
するなよ


——わかりました…
ピシャッ
ふふふ…
これでよし…と

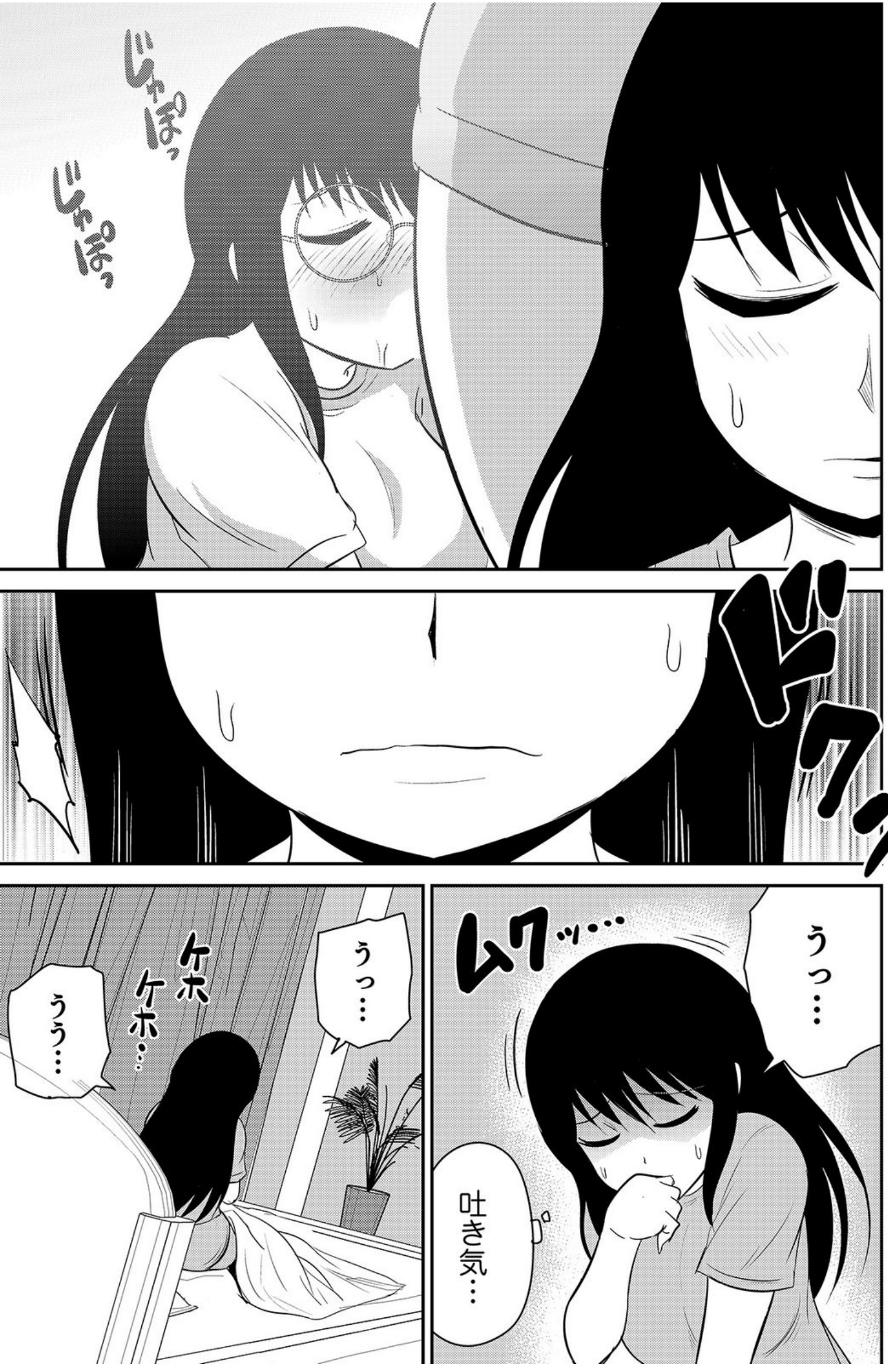

邪魔な
オスガキは
遠ざけた
これで桜木は
俺だけのものだ…！
ニヤァ…



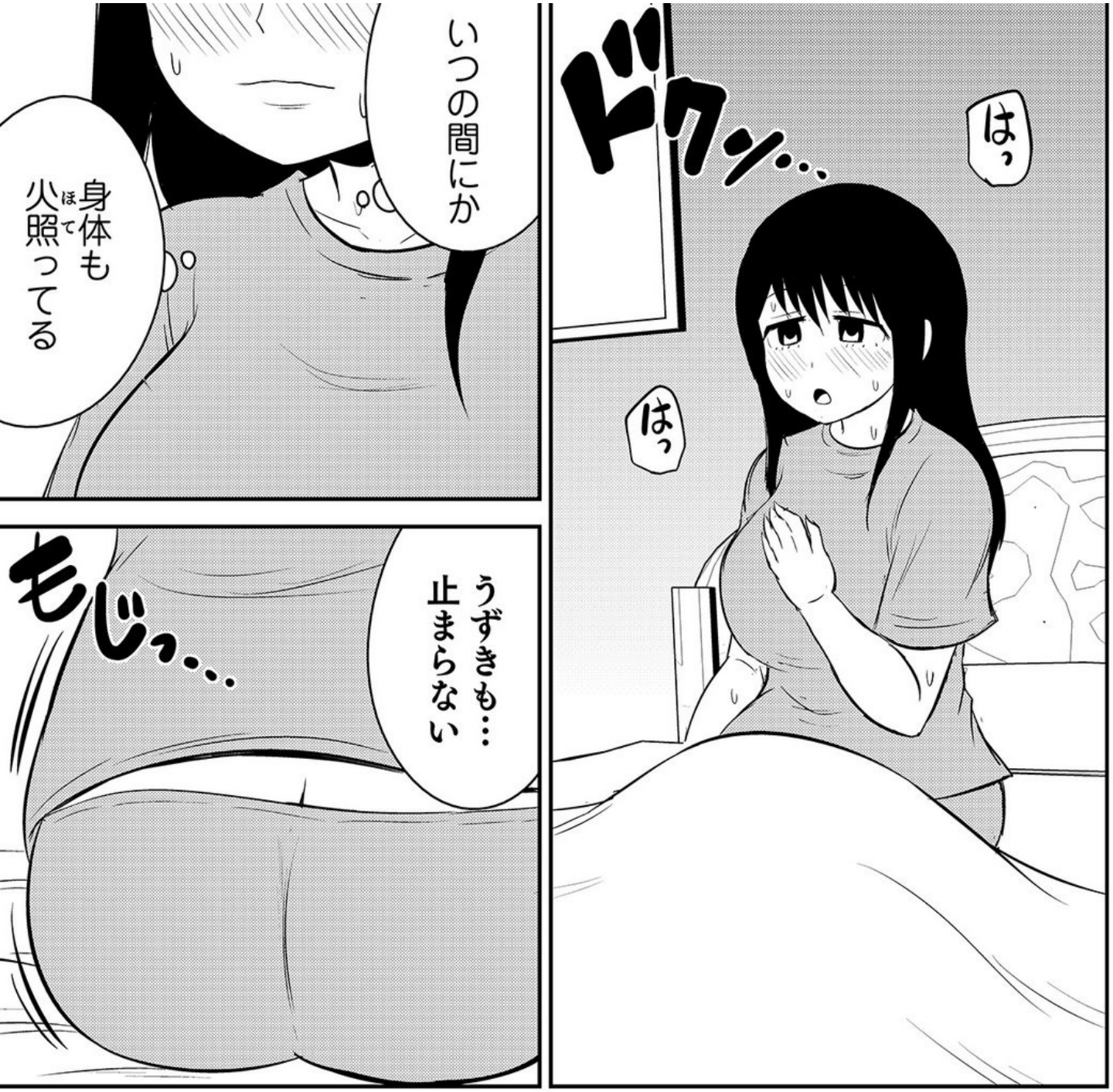



あれから内藤くんに脅迫されることはなくなった…
先生が遠ざけてくれたんだ…


でも状況が良くなったわけじゃない
俺が呼び出したらすぐに駆けつけ奉仕するんだ
むしろもっと悪くなった…


じゃぽっ
じゃぽっ
ドク…!!
うっ…
ムク…
吐き気…
うっ…
ケホ
ケホ…
うう…


ふう…
ふう…
じゅん…
ドクン…
……
ヌチュ…
ぬ
濡れてる…!?
あんな最低な
場面を
思いだして!?
ドクン…


はっ
ドクン…
はっ
いつの間にか
身体も火照(ほて)ってる
うずきも…止まらない
もじっ…


……


んっ
するときは
健一くんを
思わなきゃ…
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
しちゃ
しちゃ
しちゃ
しちゃ
気持ちよく…
なれない…

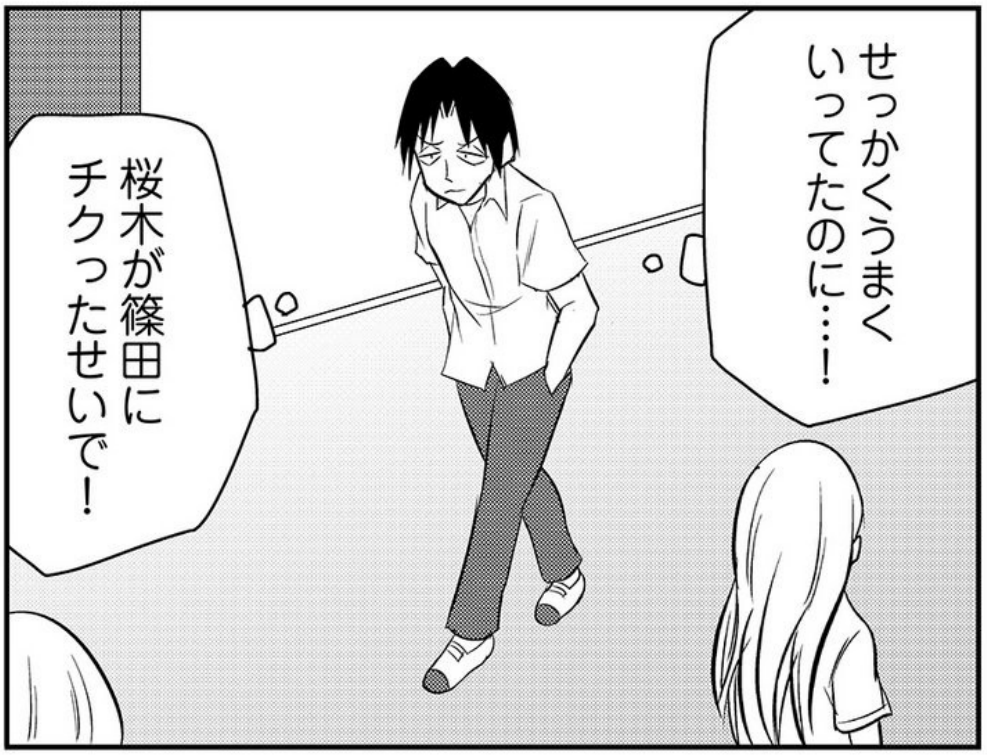

ハッ
くぅ…
んっ…
――ごめんなさい
健一くん…
んっ
ちゅ…
ちゅ…
んっ
ちゅ…
今だけだから…


はっ
ちゅん♥
はっ
ちゅん♥
はっ
ふっ
私の身体…
どうしちゃったの…？
んっ
くね
くね
怖い…
怖いよ…！
だけど…！
あっ
ぐちゅ♥
あっ
気持ちいい…！
あっ
止まらない…！
ぐちゅ♥
あっ
あっ


あっ…
イッ…
ビクンッ
イッ…
ビクンッ
楓香はこれまでに
経験したことのない
はぁ…
はぁ…
絶頂を迎えた
はぁ…
はぁ…


あ～～～
クソッ…！




せっかくうまく
いってたのに…！
桜木が篠田に
チクったせいで！


もうエロいこと
はできないのか…？
クソッ…
なんとか
ならないか…？


ん？


あれは
桜木と――
誰だ？


はっ


ま…
まさか彼氏!?
あんな見るからに
陰キャな奴が!?

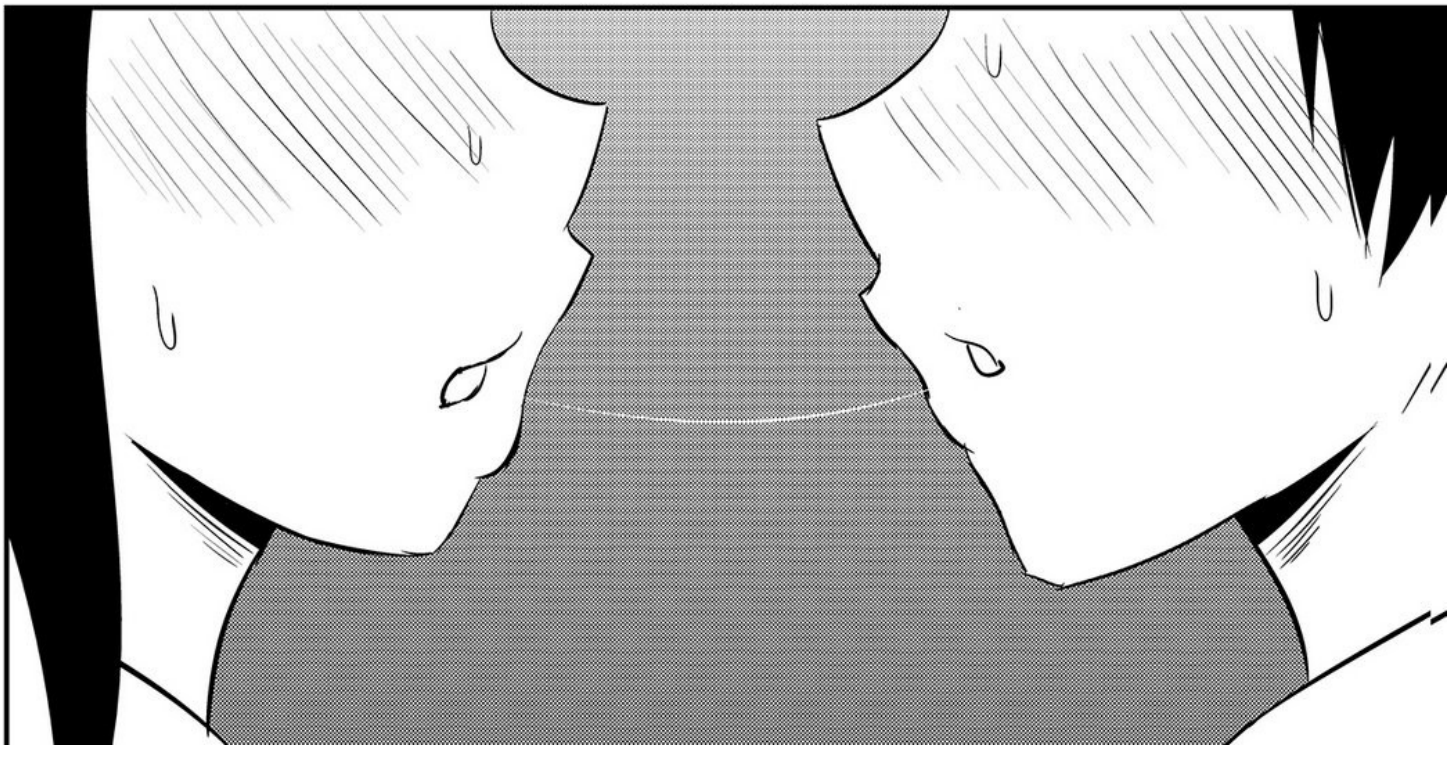

許せねぇ…


ゴゴ…
桜木は俺の
モノなのに!!



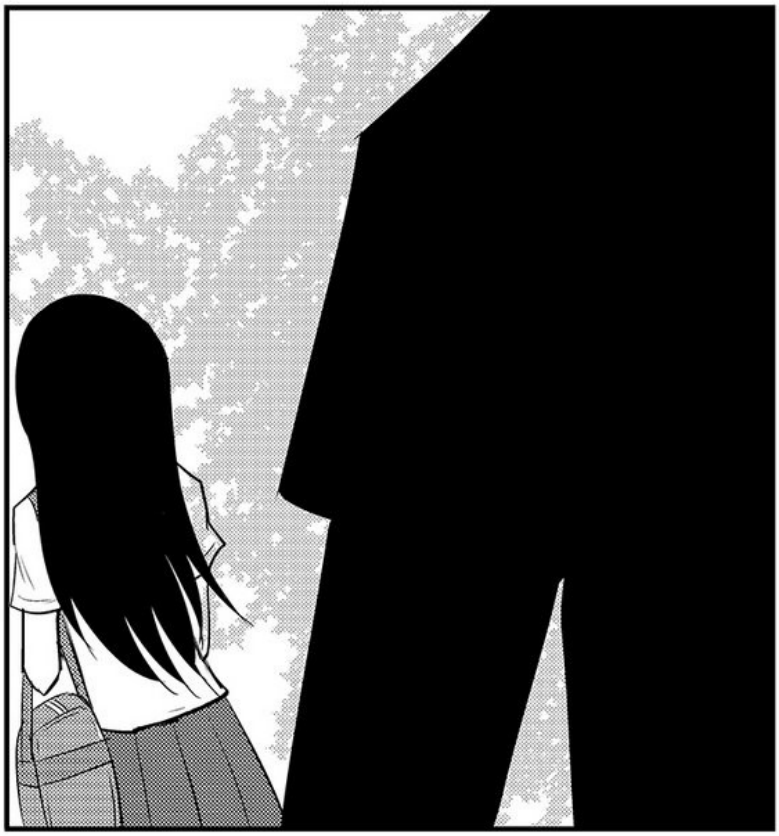







それじゃ
また明日
はい
また明日…


公園通って
近道しよう






ニャー…


おおっと
動くな！
ひっ…
こ
声も出すな！
はぁ
はっ
はぁ
出したら
こ…殺すぞ！
…っ！


こ…
こっちに来い！


ハァ
ハァ
大丈夫
いける…！
キャッ
な…内藤くん
やめて…！
お前が
悪いんだからな…！
フーッ
フーッ
お前が
チクったから…！
えっ…？


な…
何言って――
声出すなって
言ってんだろ！
ピクッ
そうそう
おとなしく
してりゃいいんだ…
ハァ
ハァ
スッ…
もみゅっ♥


うひひっ
桜木のオッパイ…
ずっと
触りたかった…
スゲェ…！
ハァ
ハァ
ワシッ
ワシッ


そして
お次は…
ぐへへ…


ぴらっ


ヒヒ
ヒヒヒッ…！
今日も
白かぁ…！

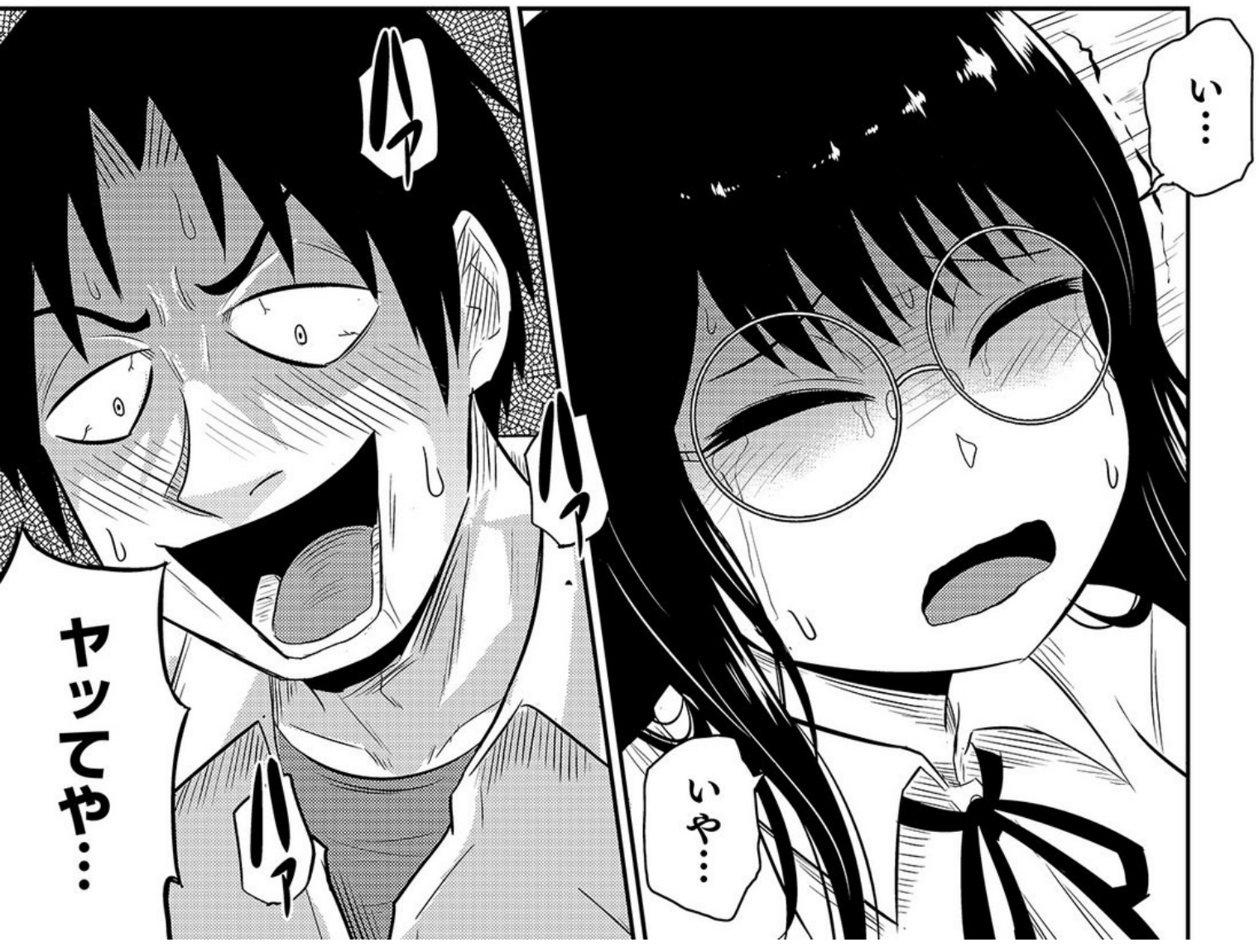

お…お願い
もうやめて…
!!
何言ってんだ
はぁ
はぁ
ここからが肝心の…
おっと動くなよっ！刺すぞ！
はっ
や…やめて…
はっ
はっ
グイ
グイ


いやあああ!!
ああああ…
いっ
うおおおおおッ!!
ぱぁ♥


ついに
同級生の
女子のッ…！
生のあそこを
見ちまった！
はぁ
はぁ
カァァァ…
しかも…！
あの
桜木のだぞぉ…！
ブブブ…
あーもう
我慢ならねぇ！


ひっ…！
そわ…
挿れる…
はっ…
はっ…
挿れてヤる！
はっ…
はっ…
ズザ…
桜木でッ
童貞卒業するッ!!

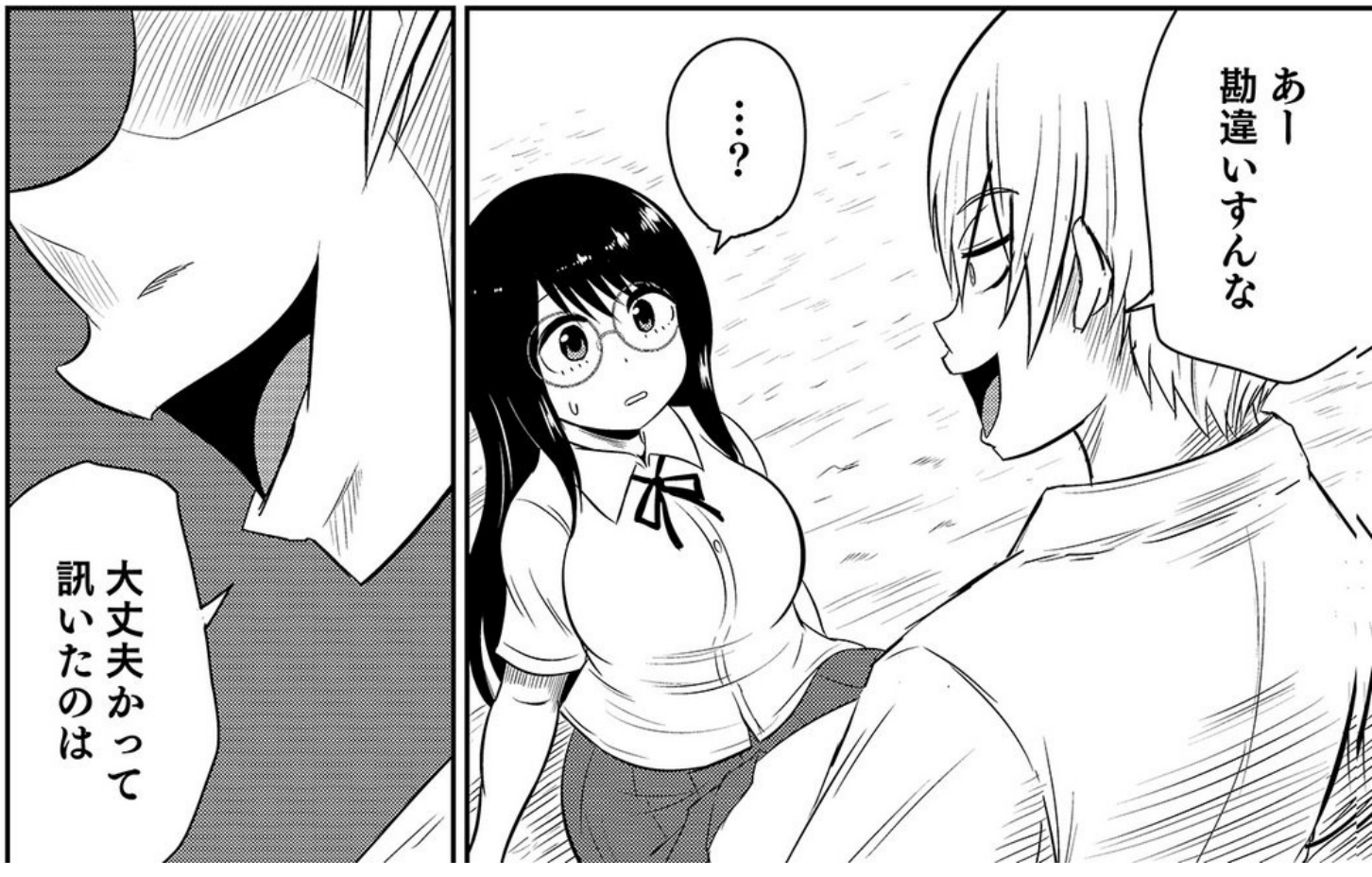

ヤッてやる！
ヤッて
やるぞぉ！


い…
いや…
ヤッてや…


ふるっ…
くっそ痛って…
誰だ…!?
はっ


野ッ…
野木先輩!?
ど…どうしてここに…
ブラついてたら公園入ってく挙動不審なオマエを見かけてな
カラ…
……


大丈夫か？
は、
はい…
ニコッ
そうか
それは良かった
あ、あの
ありがとう
ございます…


あー
勘違いすんな
…？
大丈夫かって
訊いたのは

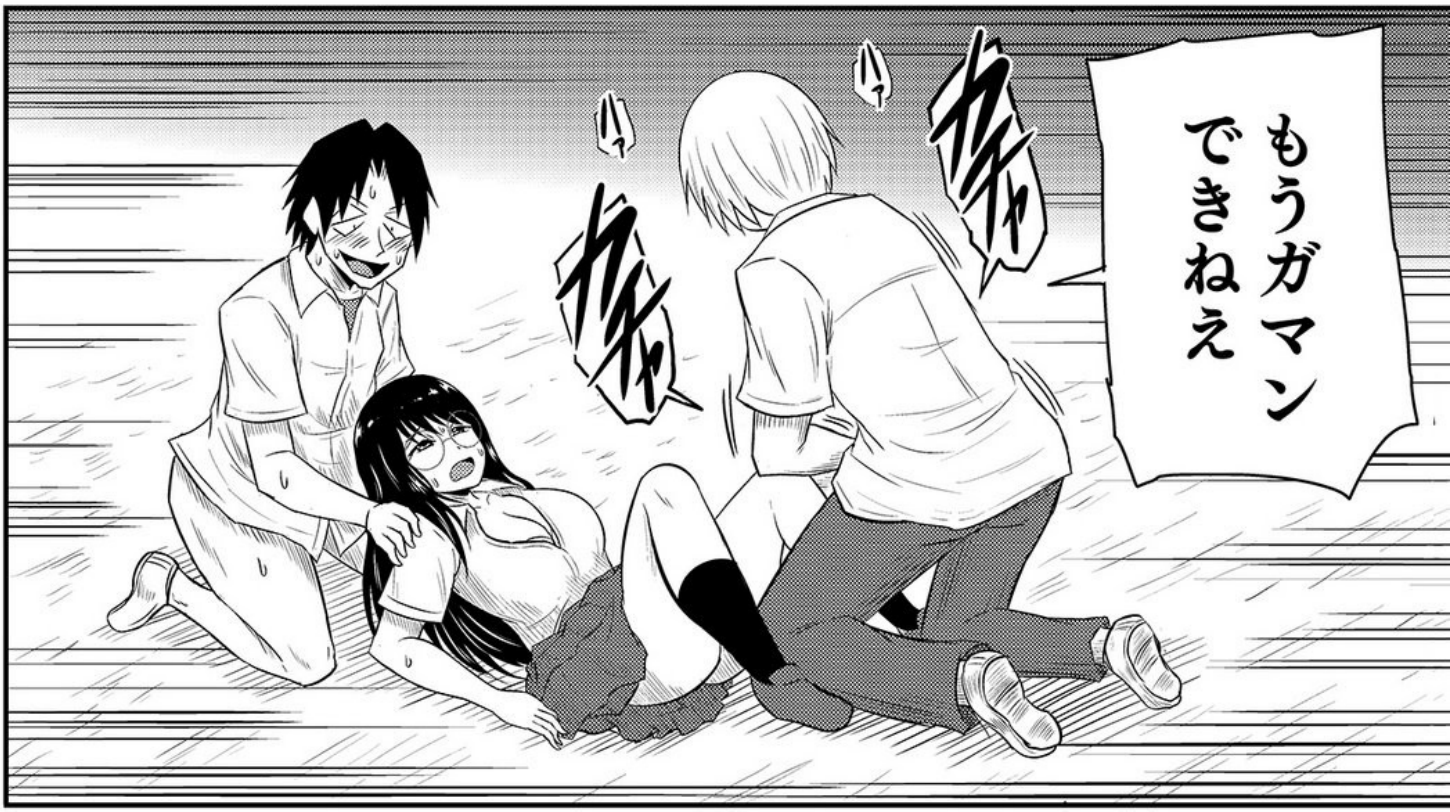

俺が最初にやりたかったからだァ!!
いやあああっ


た…
たすけ…


おっと
逃がさねぇぞ
きゃあっ!
ズサッ
ガシッ


大樹!
ボサっと
してねぇで
押さえろ!
あっ
ハイッ!


いやっ
やめてっ！
ハァ
ハァ
へへ…
こんな可愛い子が
いたのか


もうガマン
できねえ
ハァ
ハァ
カチャ
カチャ


待ってろ
よぉ…！
ハァ
ハァ
助けて…
健一くん


何っ!?
警察!?
に…逃げましょう!
ちっ…後ちょっとだったのに…


少し前…


楓香の様子がおかしかったから
やっぱり今日のうちにもう一度話をしよう


楓香の家までもうすぐだ


ピクッ
——ん？
今楓香の声が聞こえたような…？


いや
やめて！


おらっ
動くなっ
っへへへ


楓香ッ!?
——ッ…!!


……ッ
相手は2人…
しかも僕より
強そうだ…
このまま
向かっていっても
返り討ち…
そうだ警察…
警察に通報――
いや
間に合わない
考えろ考えろ
考えろ……
……
!!
……
そうだ…！

何っ!?

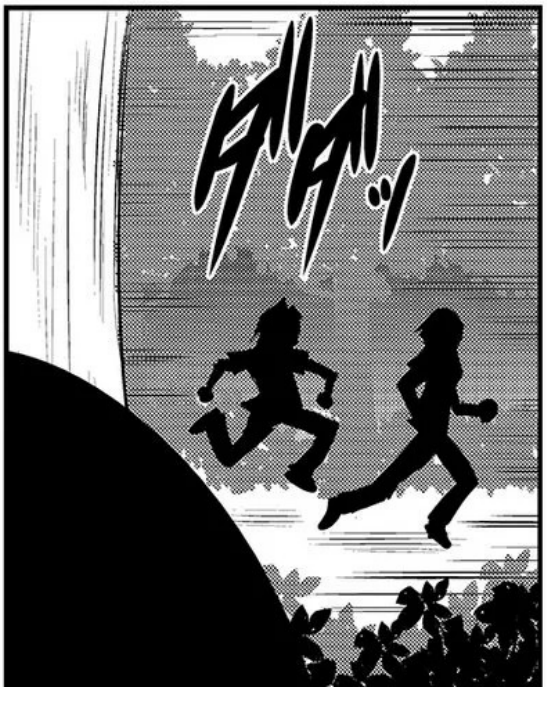
警察!?

に…逃げましょう!

ちっ後ちょっとだったのに…

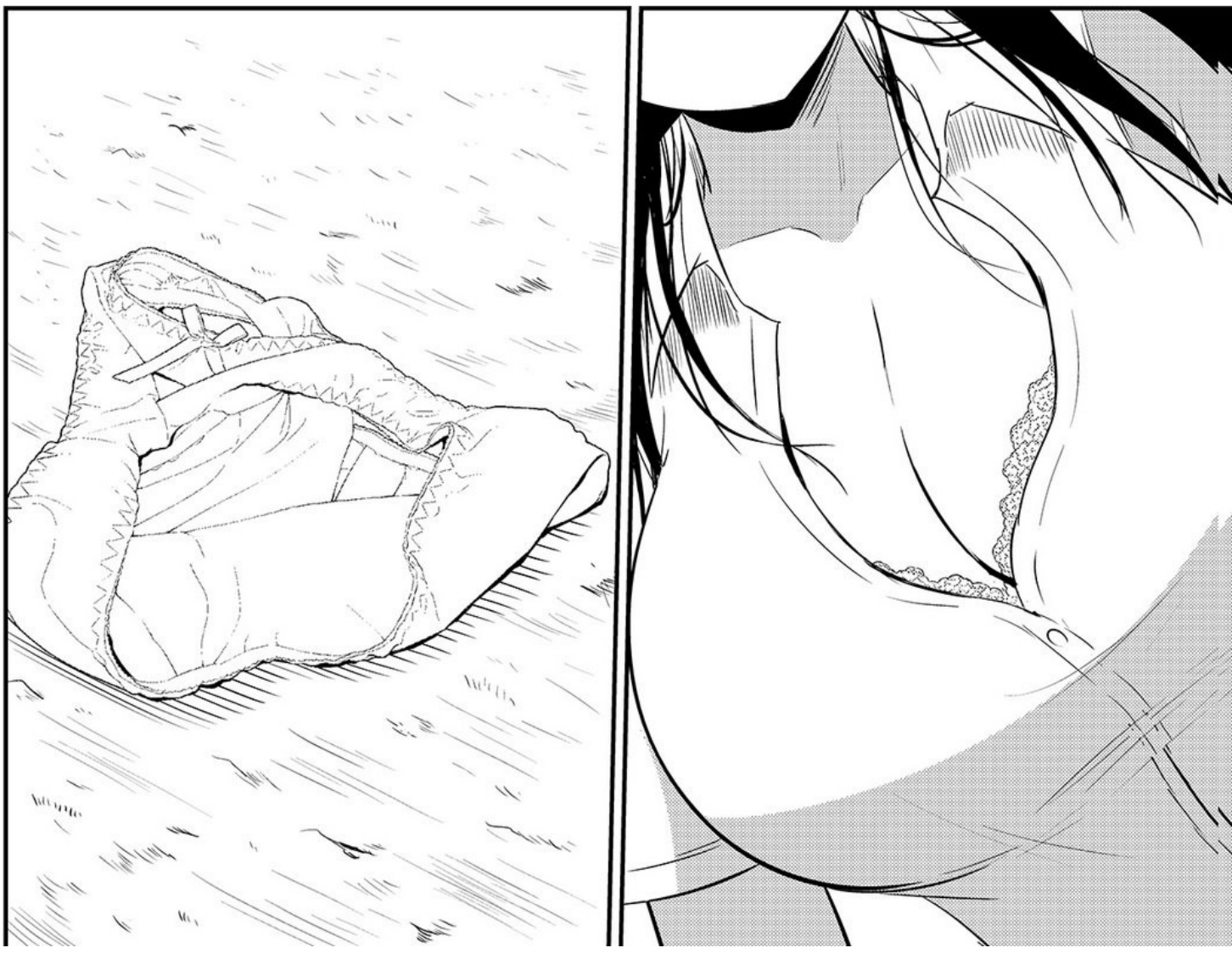






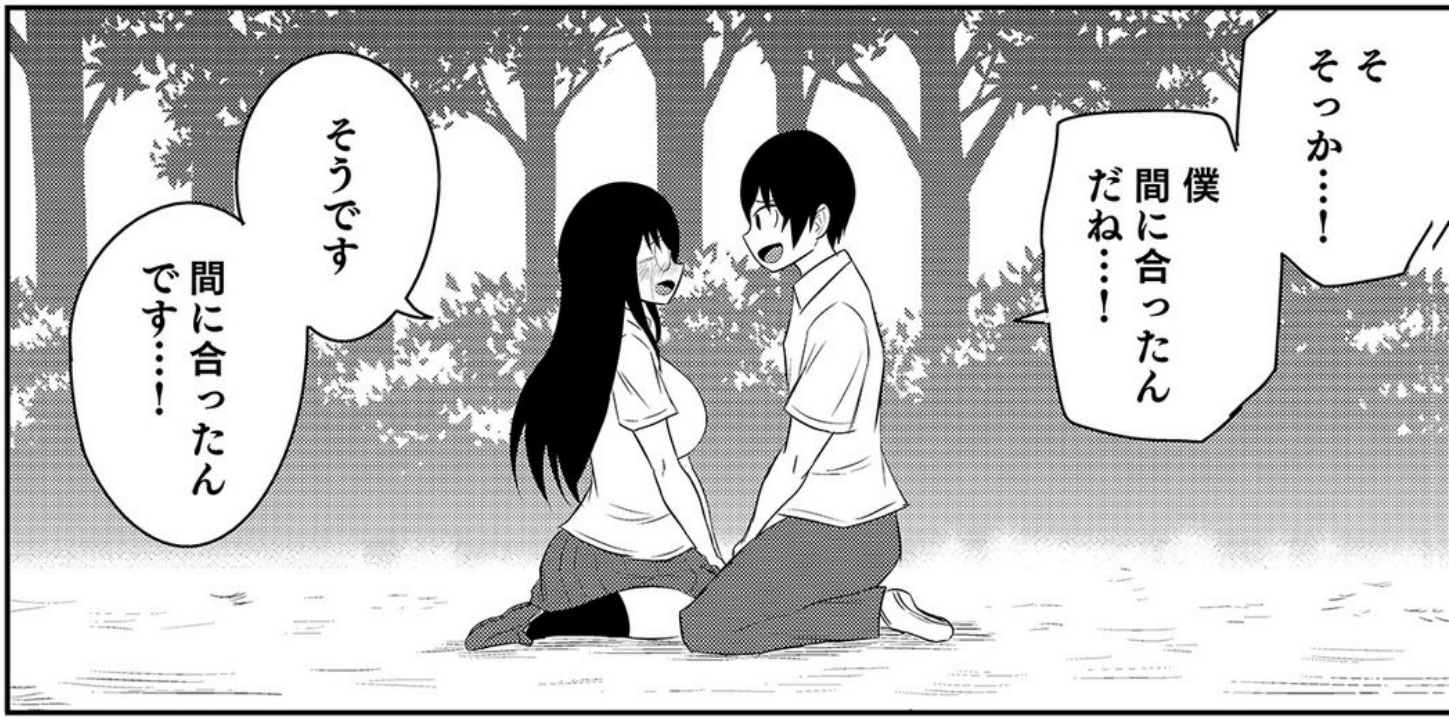
よし成功だ!


楓香っ！
――っ！




間に合わな…
かった…？
楓香ッ
楓香ッ…！
健一…くん…？
あ…
あ…
あぁッ
うあああん
ごめん…！
もう少し早く
来ていれば…！
間に合わなくて
ごめん…！
違う
違うの…！
健一くんは
間に合ったの！


私
何もされて
ません
健一くんの
おかげで
助かったんです
この涙は
助かって
間に合って
良かったって
涙です…


そ
そっか…！
僕
間に合ったん
だね…！
そうです
間に合ったん
です…！

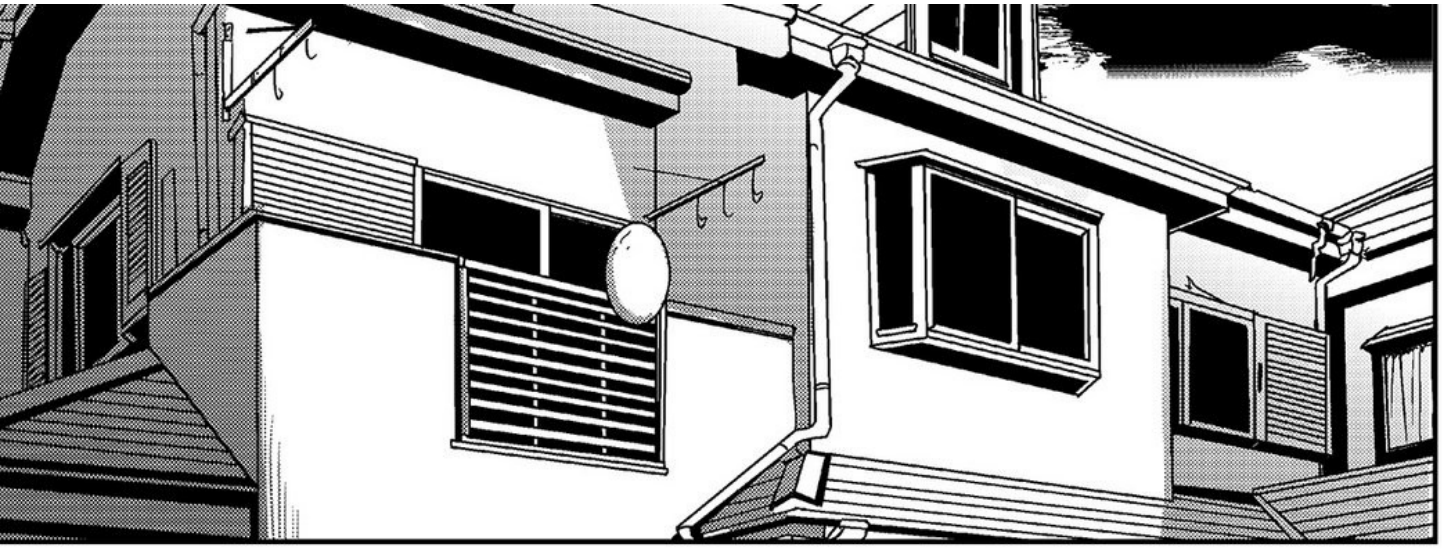

やっぱり
健一くんは
私の
最高の恋人
です…！


ここまで来れば
大丈夫か…
ハァーッ
ハァーッ
ですね…

それにしても…
あの子は誰だ？
はぁ
はぁ…


同級生の
桜木楓香です…
ほう…
ってことは
チャンスはまだ
あるな
ニヤリ…
――っ！


へへ
心配するな
そのときは
お前も誘ってやるよ
俺の後で
かまわないならな
この次は絶対
ヤッてやる！
予定は
狂っちまったが
先輩に
従ったほうが
確実だよな…
次は絶対
桜木をヤル
ぜぇ！
ハハッ




送ってくれて
ありがとう
ございます
いや…


それじゃ
またね
ちらっ…
……



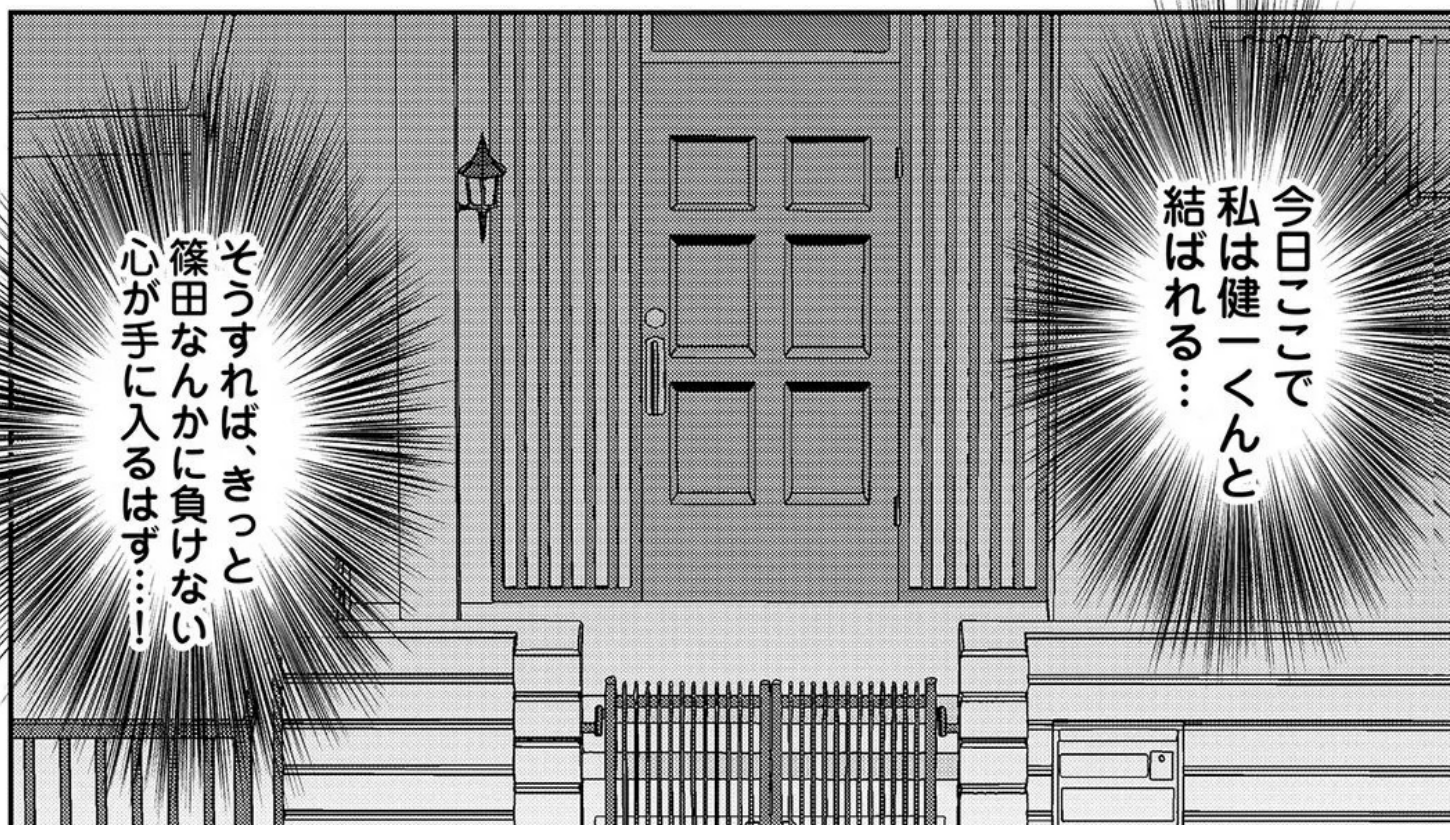

どうかした？
…ッ

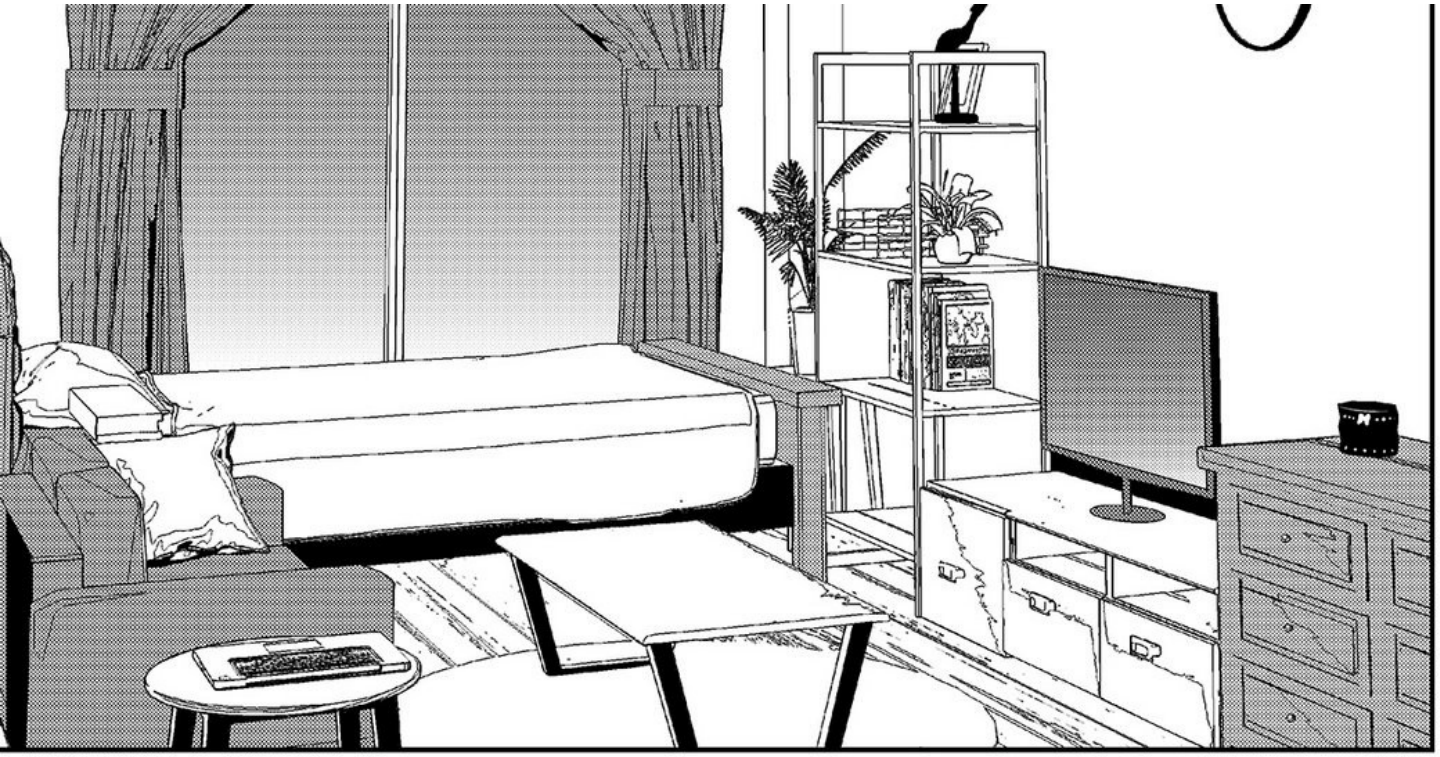

健一くん
あのね…
あの…
その…


実は今日
家に誰も
いないんです…！
……
えっ…？
だから
もじ…
少し寄って
いきませんか…？
……
こ…
この展開って
もしかして…
ドキ…
楓香が
誘ってる!?

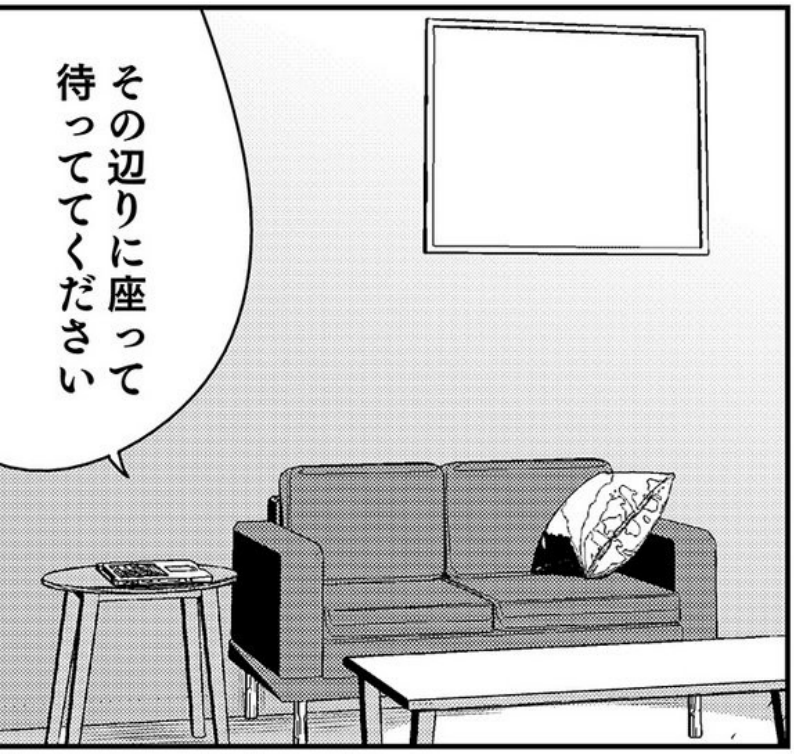

カアアア…
言っちゃった…
でも
これでいいの
私は悪い方向に
変化してる…
それを
止めるために
健一くんとの
関係を深める
しかない…！
キッ
で、でも…
だけど…
ドキ
ドキ


お願い
健一くん…！
…っ！
わ
わかった…
よかった…
ホッ…


今日ここで
私は健一くんと
結ばれる…
そうすれば、きっと
篠田なんかに負けない
心が手に入るはず…！




ここが
楓香の部屋…！
スン…
良い匂い…！


その辺りに座って
待っててください


私は
シャワーを
浴びてきます
えっ!?


あ…
さっきので
汚れたので
あっ
そういうこと…
ドキ
ドキ


私がいないからってタンスの中身いじっちゃダメですよ
し…しないよ！
クスクスッ
ぱたん！
……
……
12
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11


ド…
ドキドキが
止まらない…
ドキ
ドキ
ドキ


タンス…
楓香の下着が
あるのか…
み…
見てみたい
気持ちもあるけど…
ドキ
ドキ
ゴクッ

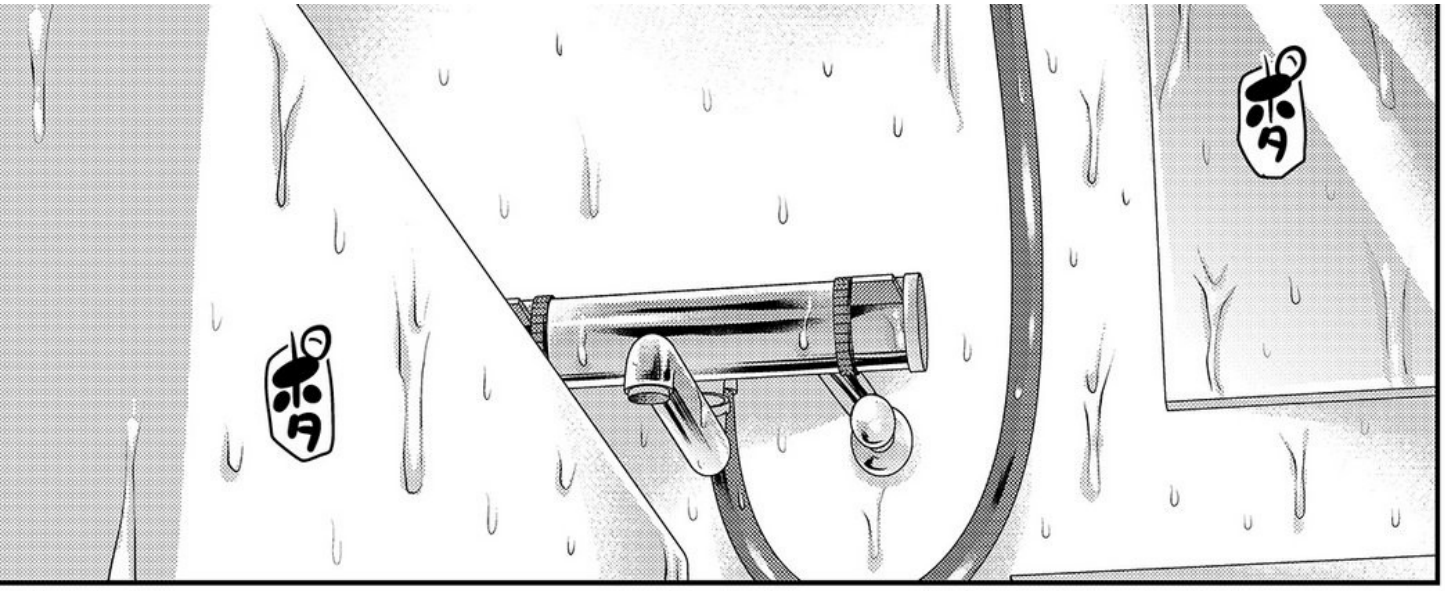
ちらっ


い…いや
ダメだ
そんな最低な
行為は…！
ブン
ブン
ガチャ…
ビクッ


お待たせしました
ワクワク
ゆと…
キュッ
エ…
エロッ…!!
!!


健一くんも
汗かいて
ますよね
え、
ま、まあ…
け…
健一くんも
シャワー…
浴びてって
ください
……
——は？

僕の彼女はNTR（ねとられ）ているのだろうか



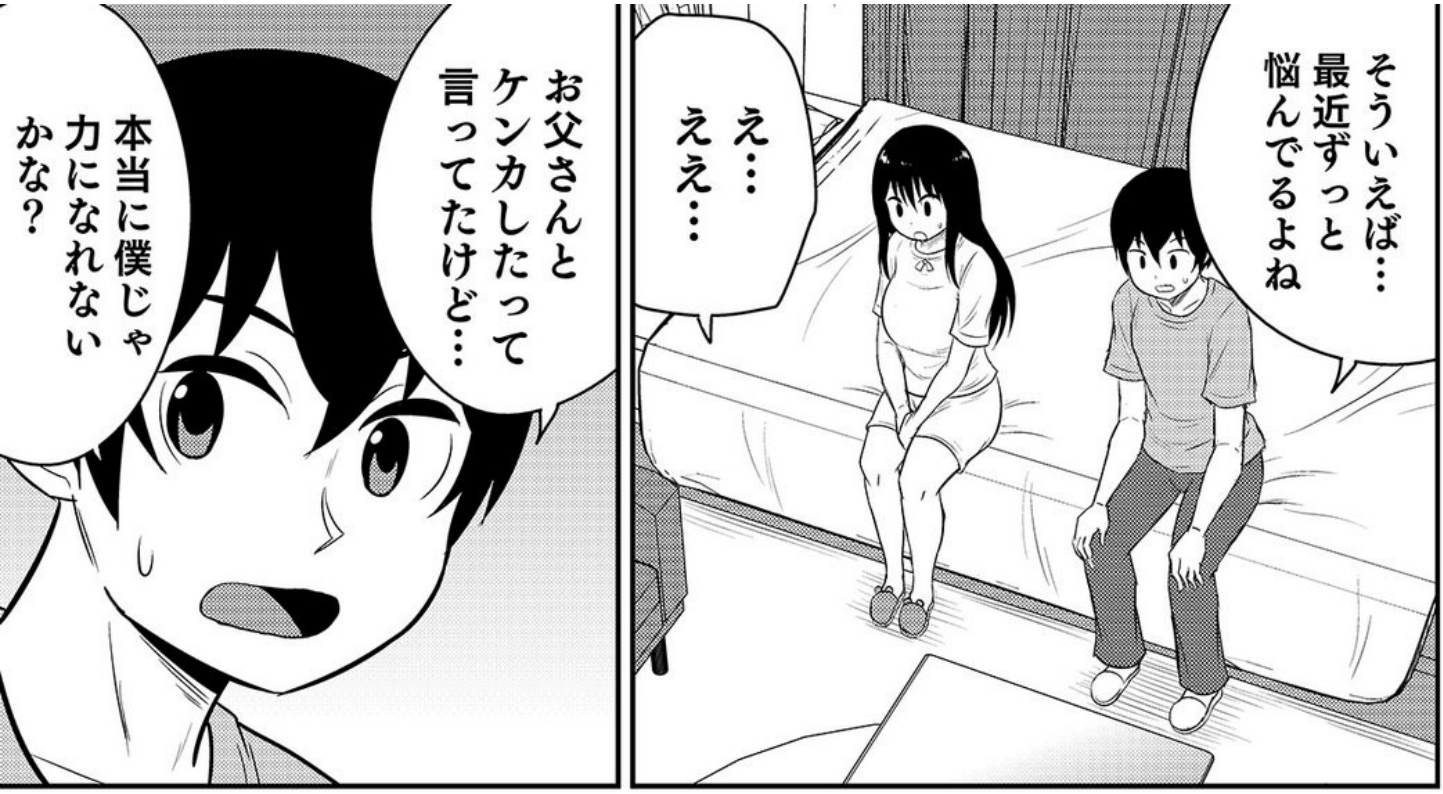


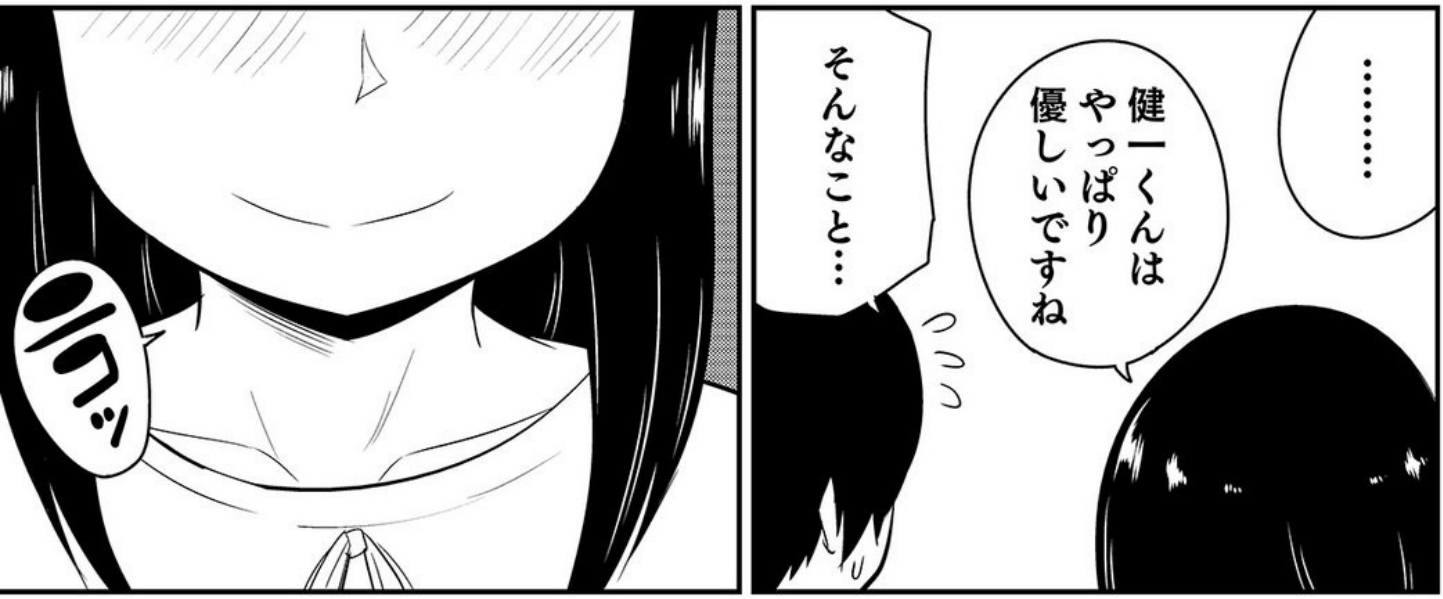

ふ――っ


ガチャ…
おまたせ…
ふふっ
ずいぶん
長かったですね


う、うん…
もしかして
洗濯物の私の
下着にイタズラ
してましたか？
そ
そんなこと
しないよ！
クスクス
ふふ
冗談です




そういえば…
最近ずっと
悩んでるよね
え…
ええ…
お父さんと
ケンカしたって
言ってたけど…
本当に僕じゃ
力になれない
かな？


……
健一くんは
やっぱり
優しいですね
そんなこと…
ニコッ

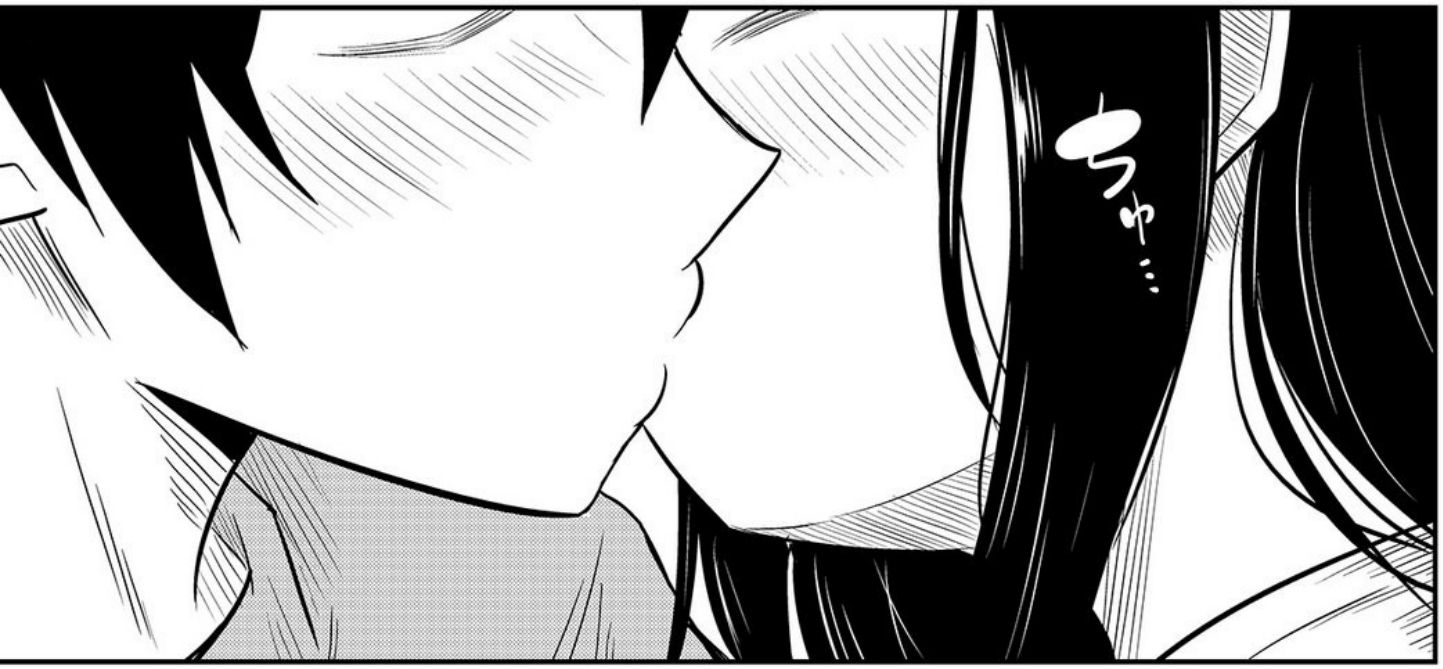

健一くんと
一緒に過ごすこと
健一くんと
お話しすること
それだけでも
助かっています


楓香…
本当に大丈夫…なんだよね？
…大丈夫です


健一くんがそばにいてくれるだけで
私はしあわせです


楓香がそう言うなら…
信じるしかないよな
それより健一くん…



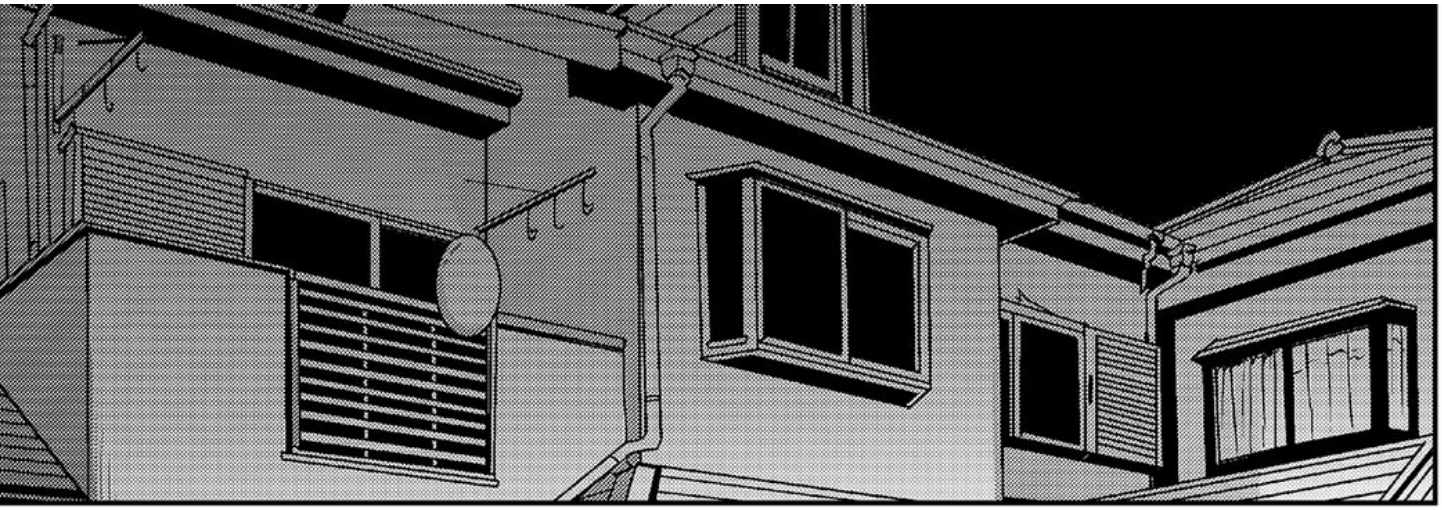

ちゅ…

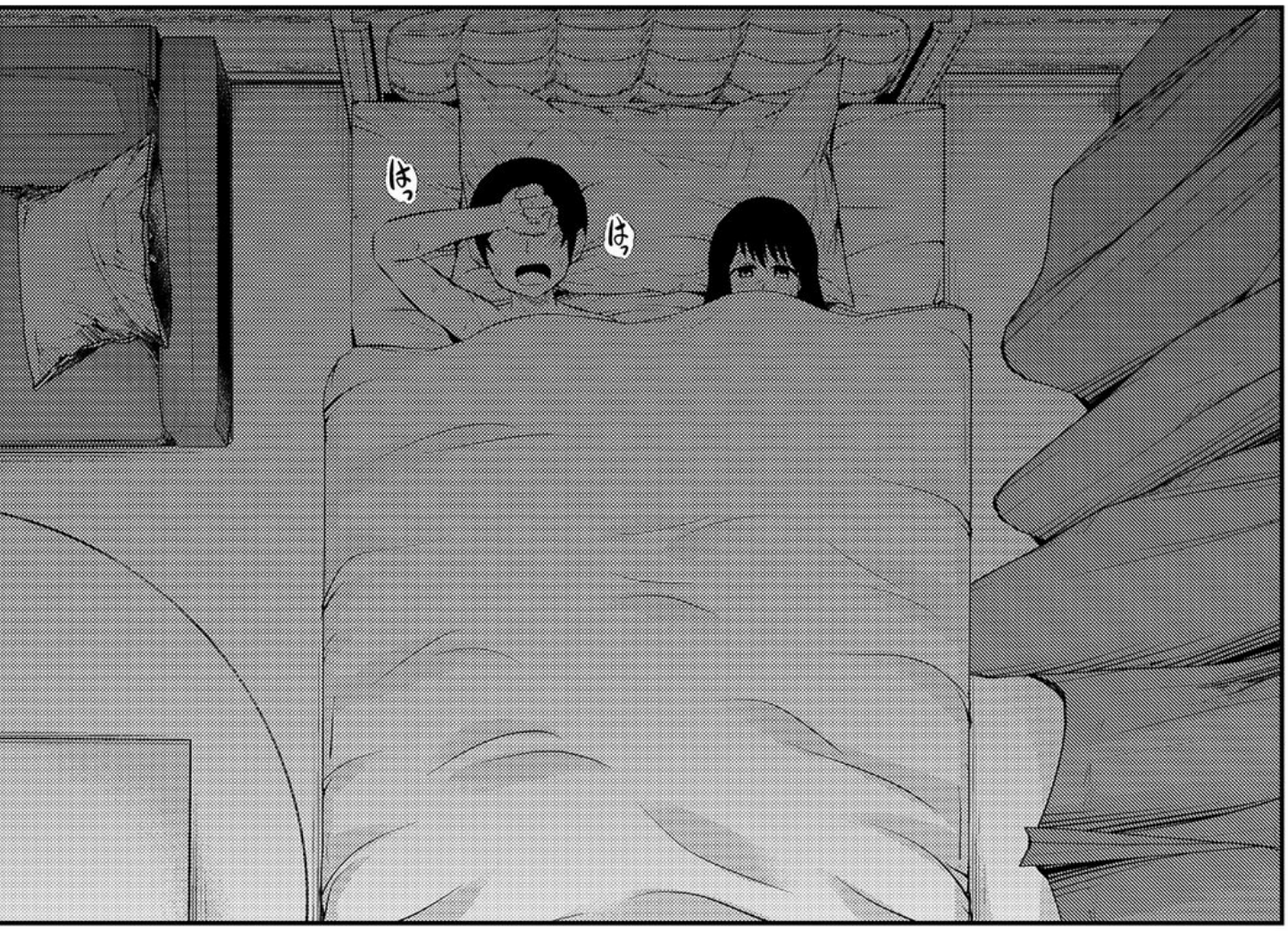

ちゅ…
ちゅ…


きゃっ…
？
そっ…
ハンッ♥
!?
なっ…
ドキ
楓香ッ…？
健一くん…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

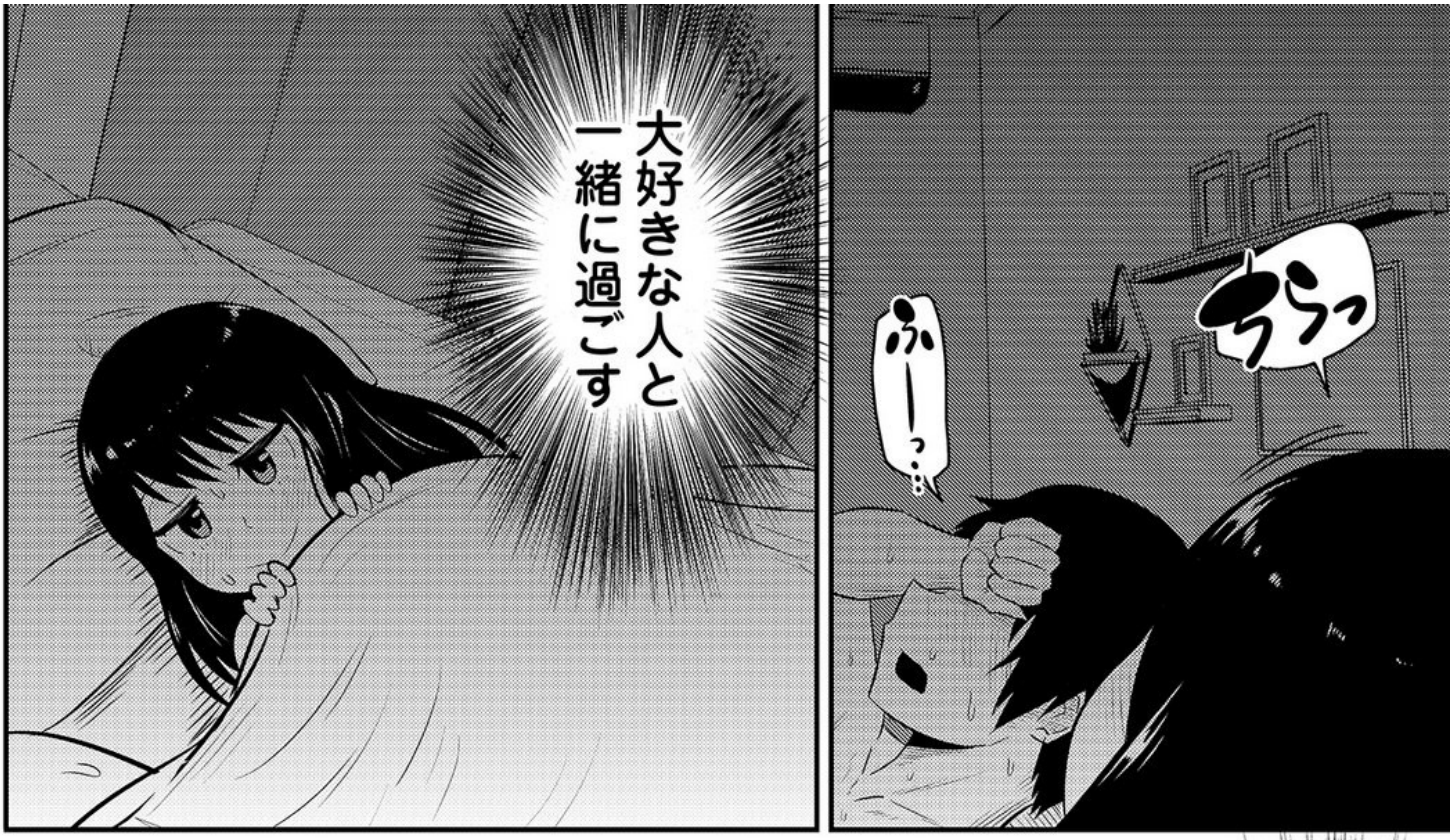

その…
しませんか…？
うん

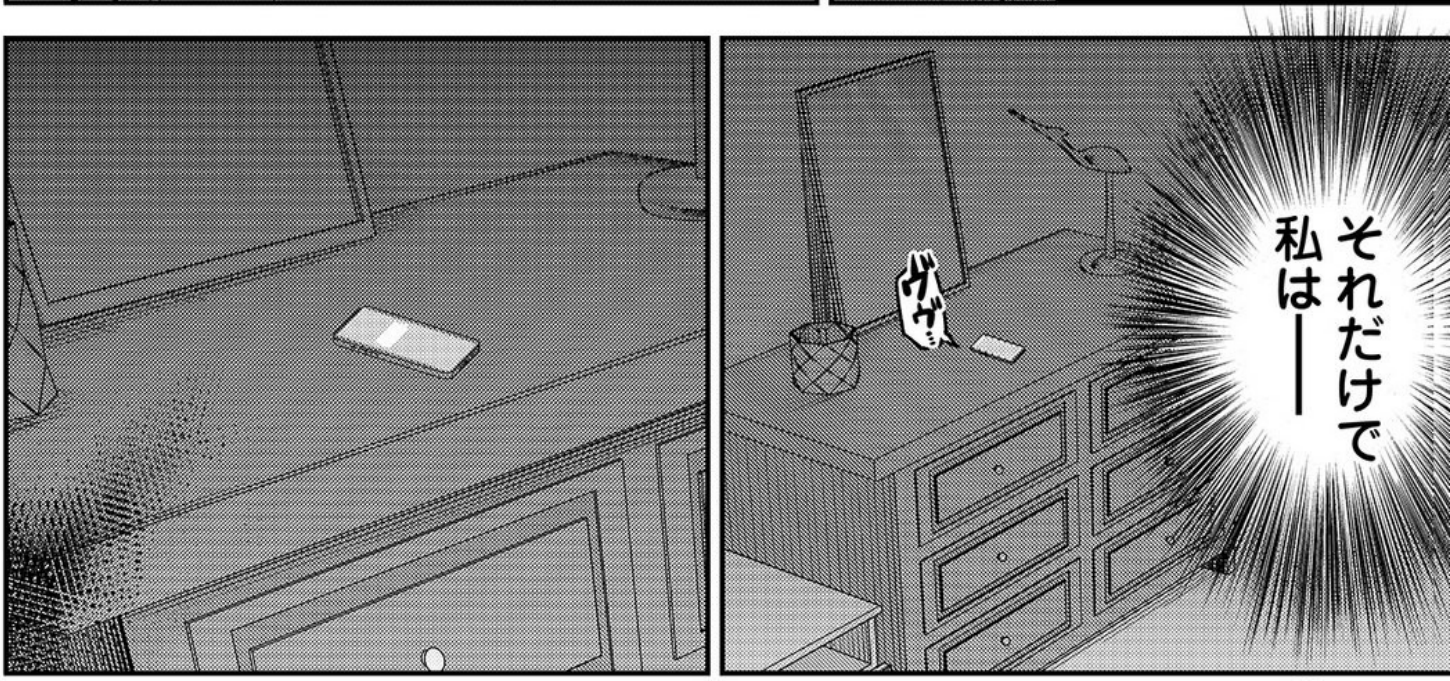


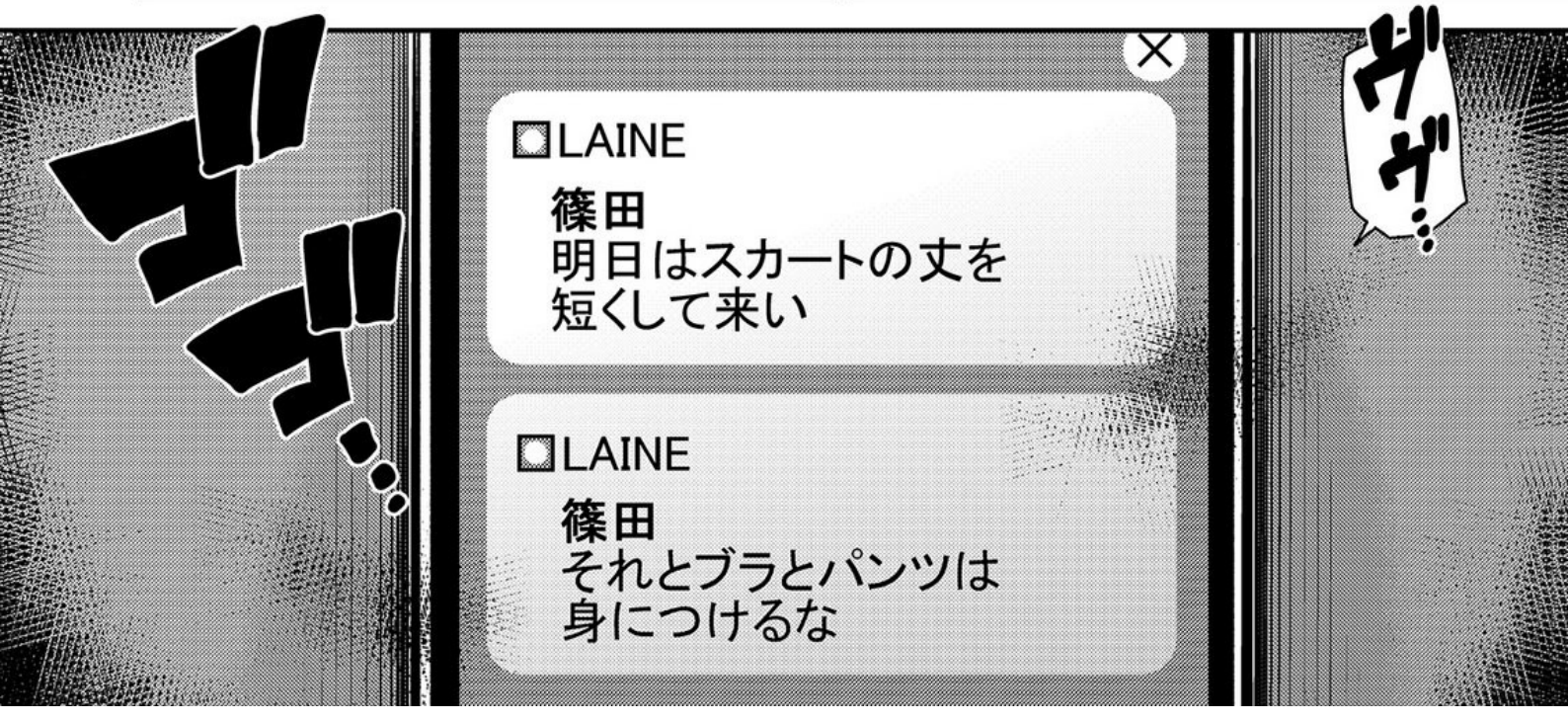


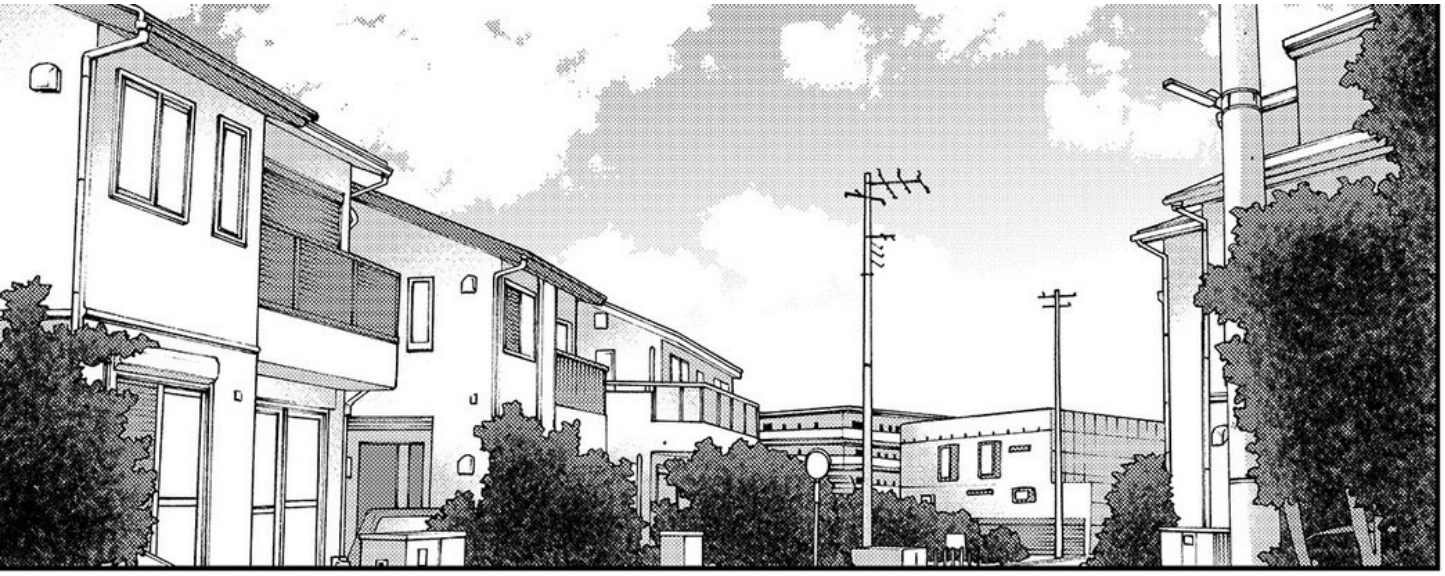

はっ
はっ


……
ついに…
しちゃった…


ちらっ
ふーっ…
大好きな人と
一緒に過ごす


それだけで
私は――
ヴヴ


ゴゴゴ…
ヴヴ!
LAINE
篠田
明日はスカートの丈を
短くして来い
LAINE
篠田
それとブラとパンツは
身につけるな




……
昨日は楓香としちゃったんだ…




焦ってうまくできなかったけど…
それでも楓香も
きっと満足して——


おはようございます

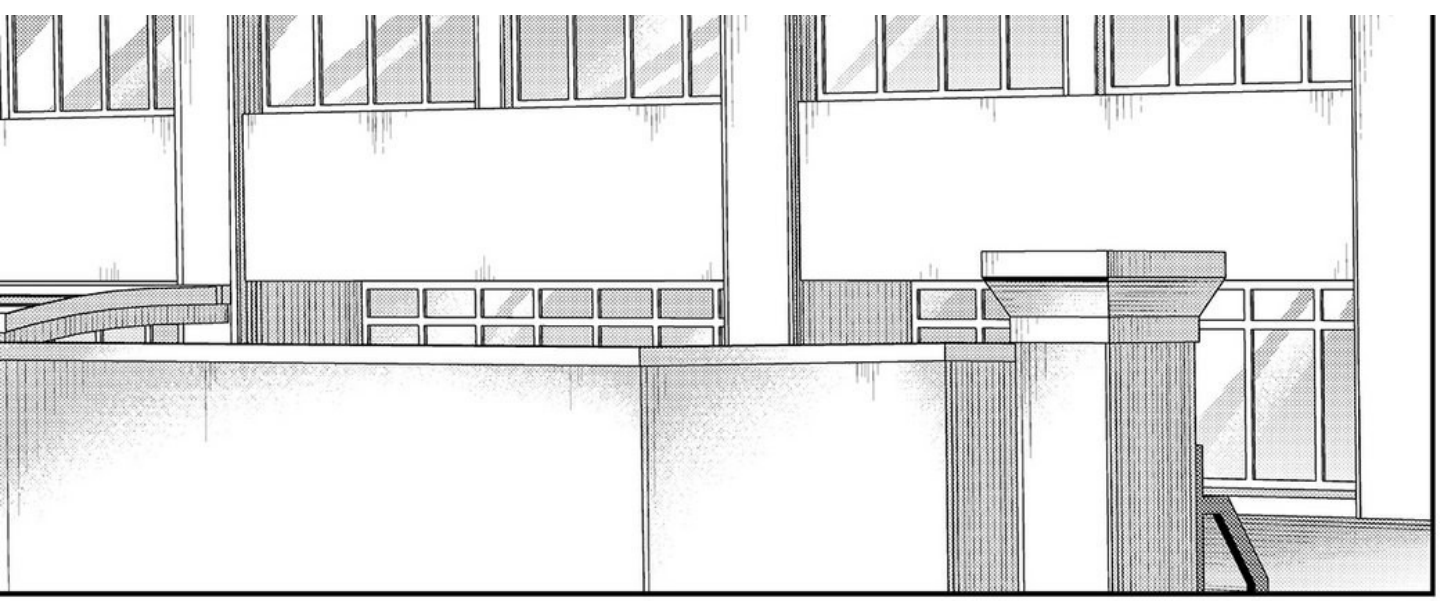

あっ
おはよう
楓香
ギュ…

もじっ…

なんか照れてるしぎこちないな…
楓香も昨日のこと思いだしたのかな？


もじ
もじ


こういうの…いいなぁ…！
にまぁ



最近スカートの丈が短すぎる！

服装の乱れは風紀の乱れ!!

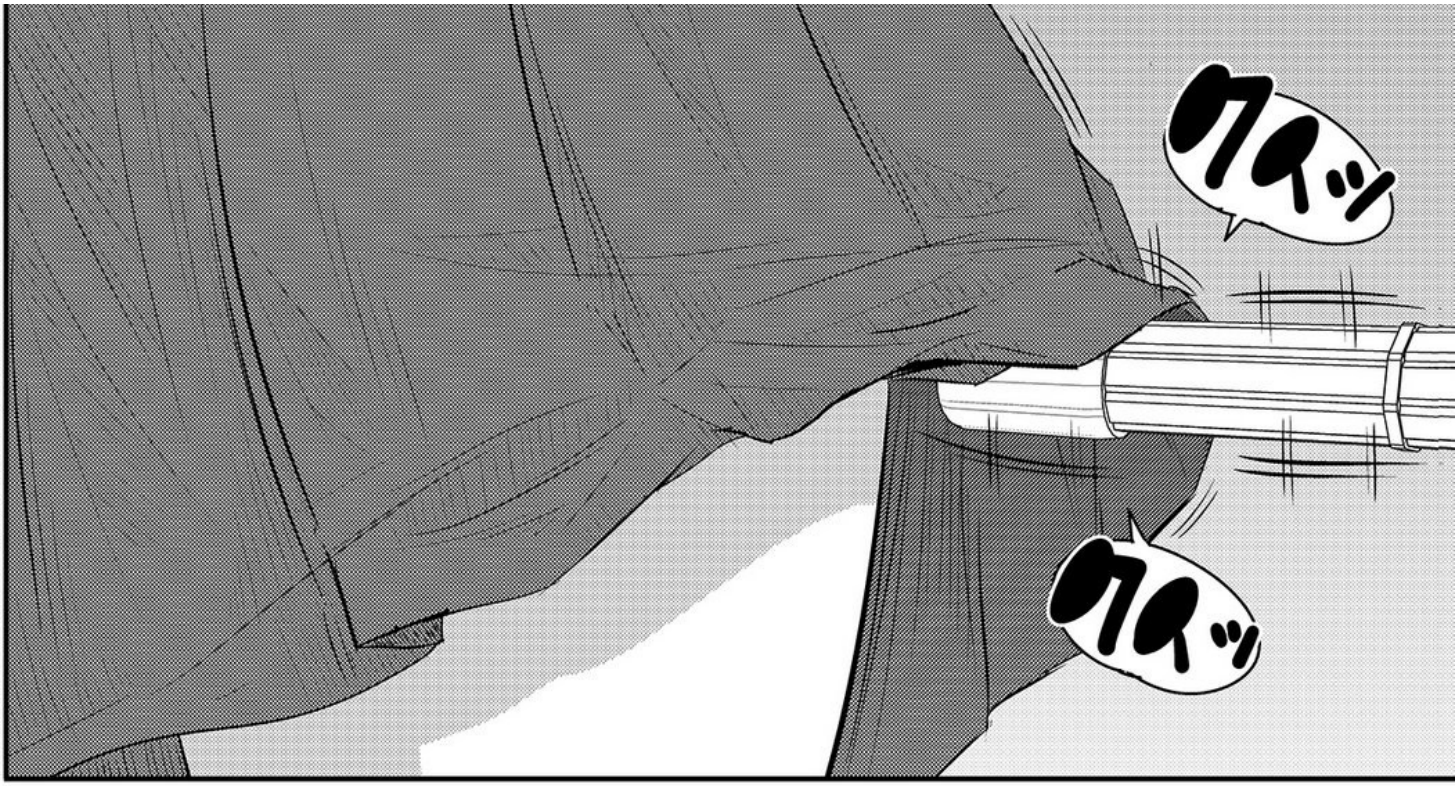
今日から厳格にチェックするからな!!

ええ～っ

マジでぇ…？

最悪なんですけどー

ざわ…



うーん
微妙な所だが…

まぁ
行っていいぞ

は…
はい…

ニヤ
ニヤ

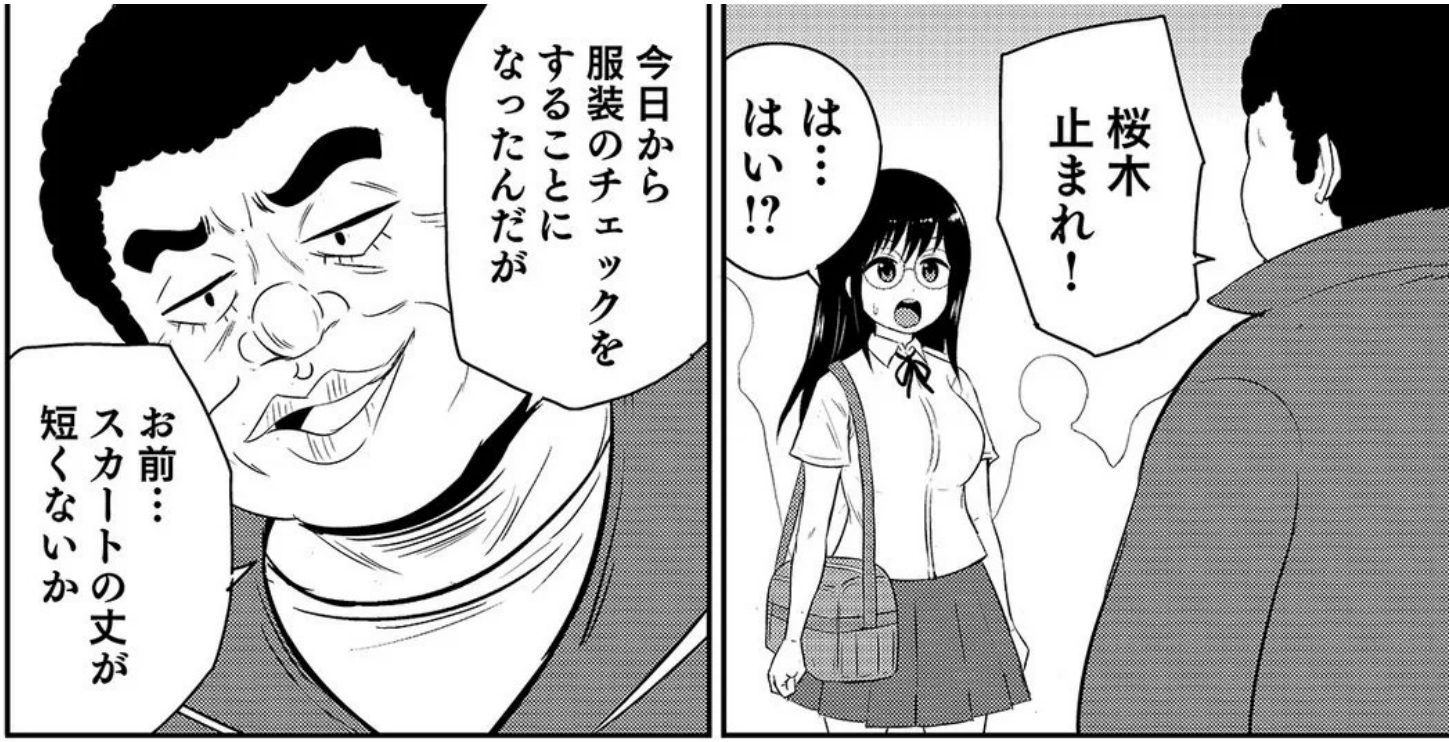
よし次っ

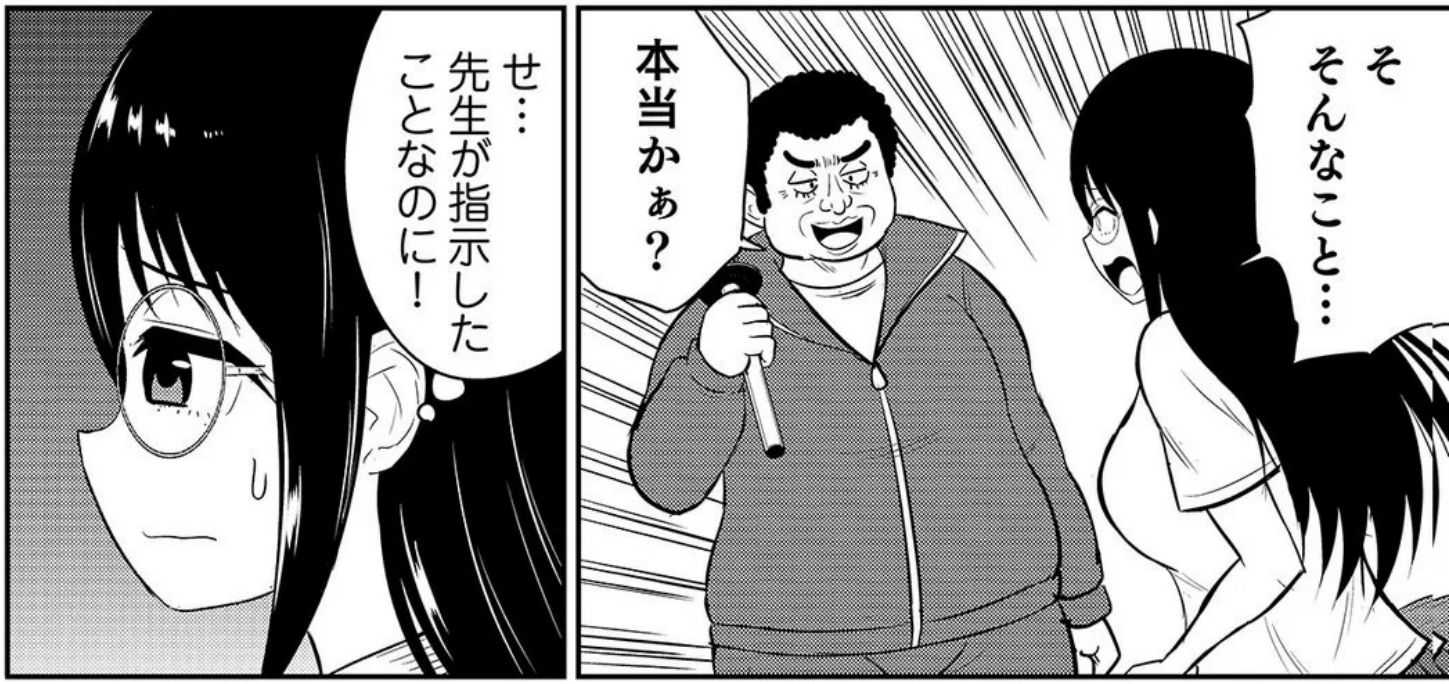
風紀を守るなんて
口実に過ぎない

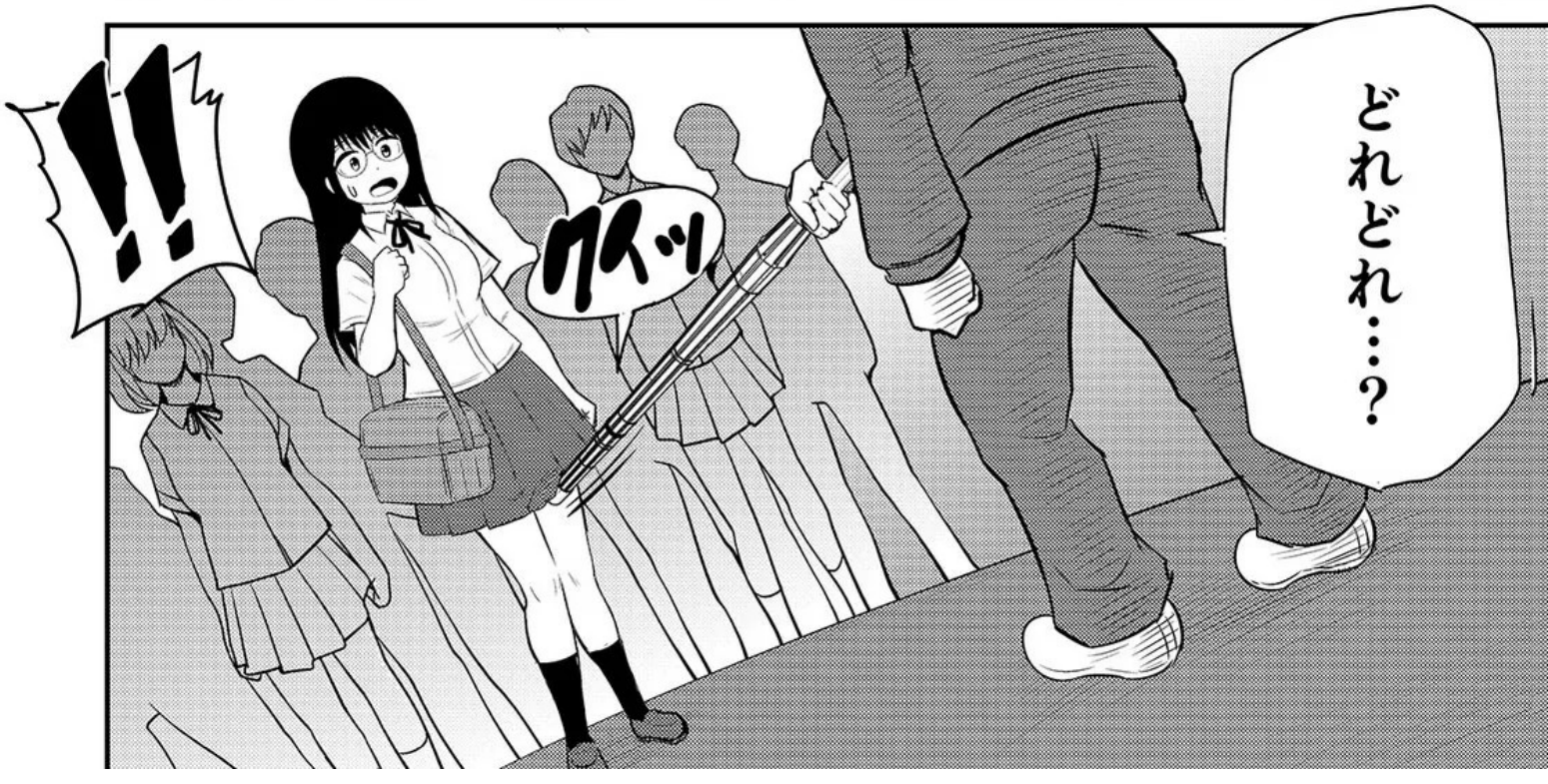
これは
桜木を辱める
イベントだ

クク…


よしいいぞ
行け
オマエも
よし
オマエも
行っていいぞ
おっ
…と柴田
来たな桜木
周りに
バレないように
距離をおいてるのか
いいねぇ
秘密の交際
ニヤァ…
俺が台無しに
してやるからな…！

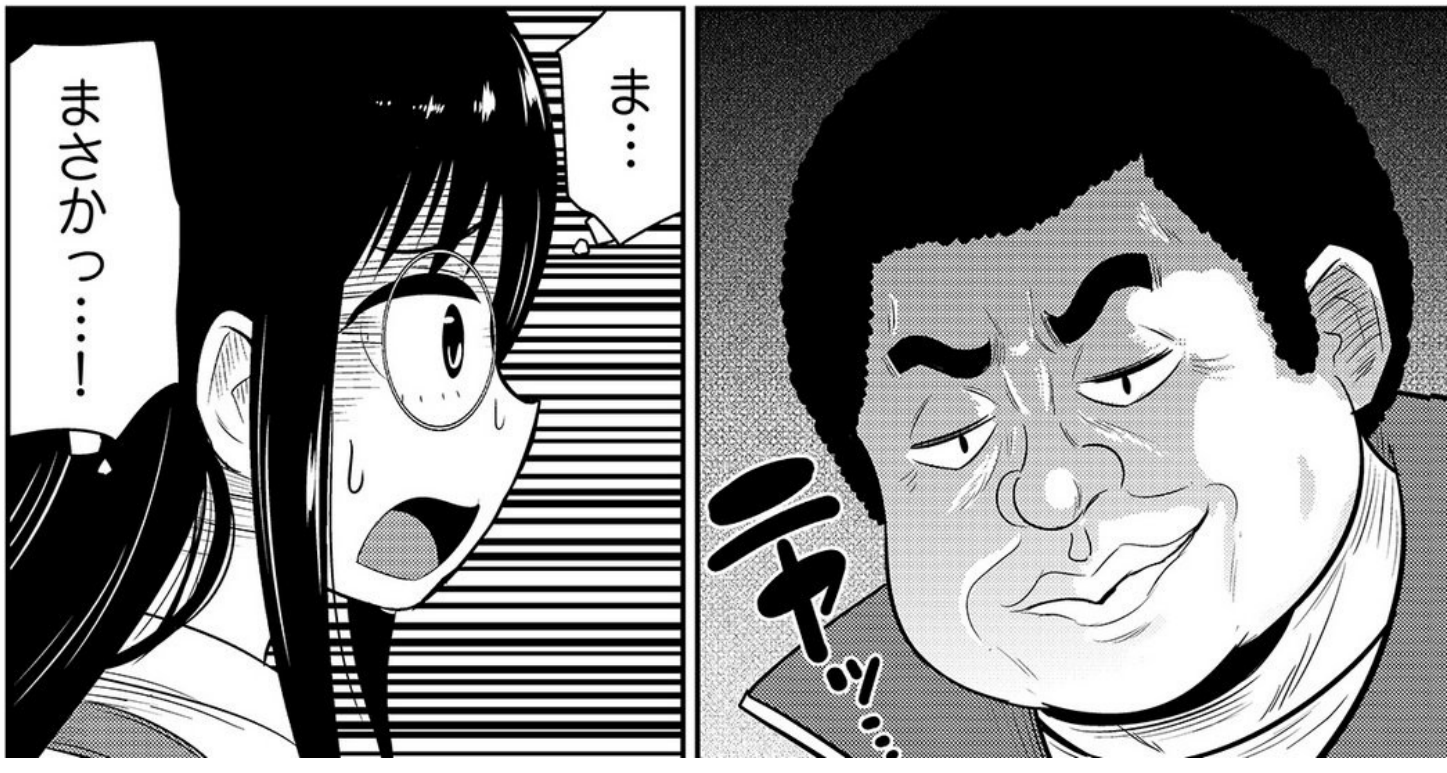

桜木
止まれ！
は…
はい!?
今日から
服装のチェックを
することに
なったんだが
お前…
スカートの丈が
短くないか


そ
そんなこと…
本当かぁ？
せ…
先生が指示した
ことなのに！

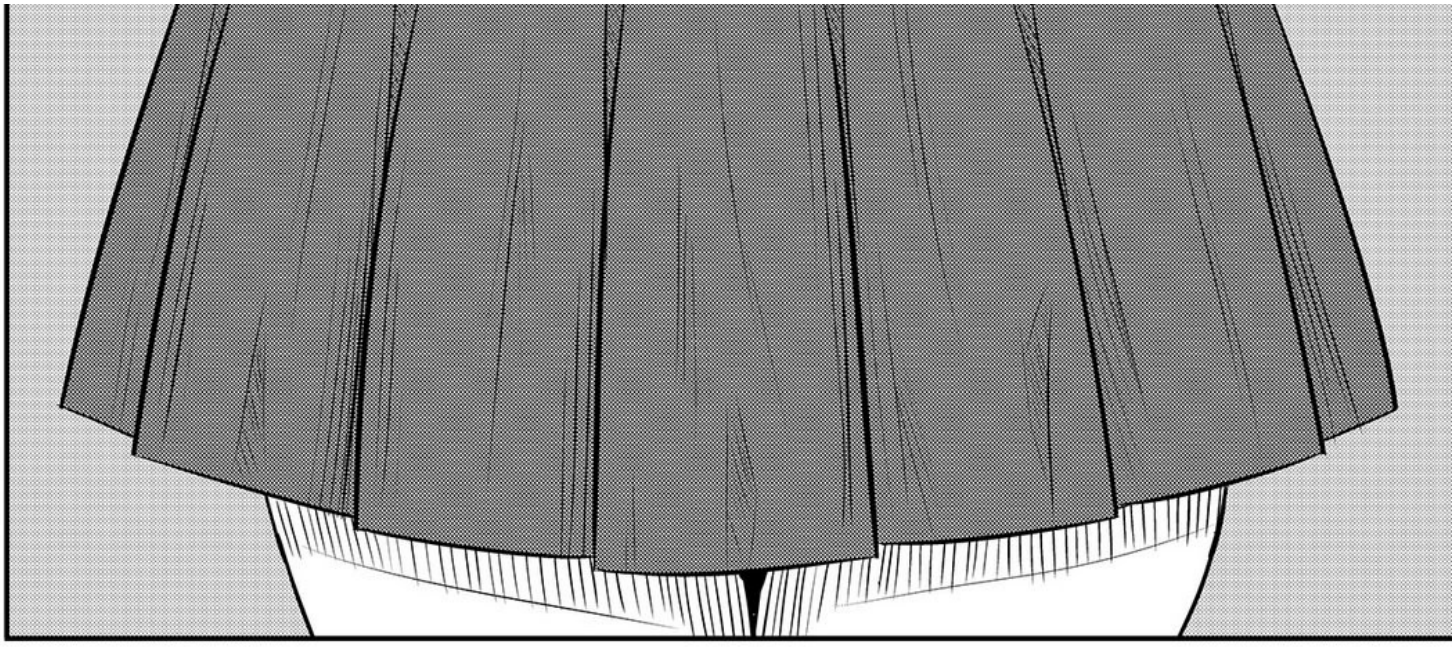

どれどれ…？
!!
クイッ


こ…
これが目的
だったんだ！
ざわ
ざわ
先生は…
みんなの前で
私を…！
どう見ても
短いがなぁ
んん――っ？
スッ…
クイッ
……ッ！
スススッ…


先生の指示で
下着は
身につけてない…
このまま
じゃ――
スス…


ま…
まさかっ…！
ニヤッ…

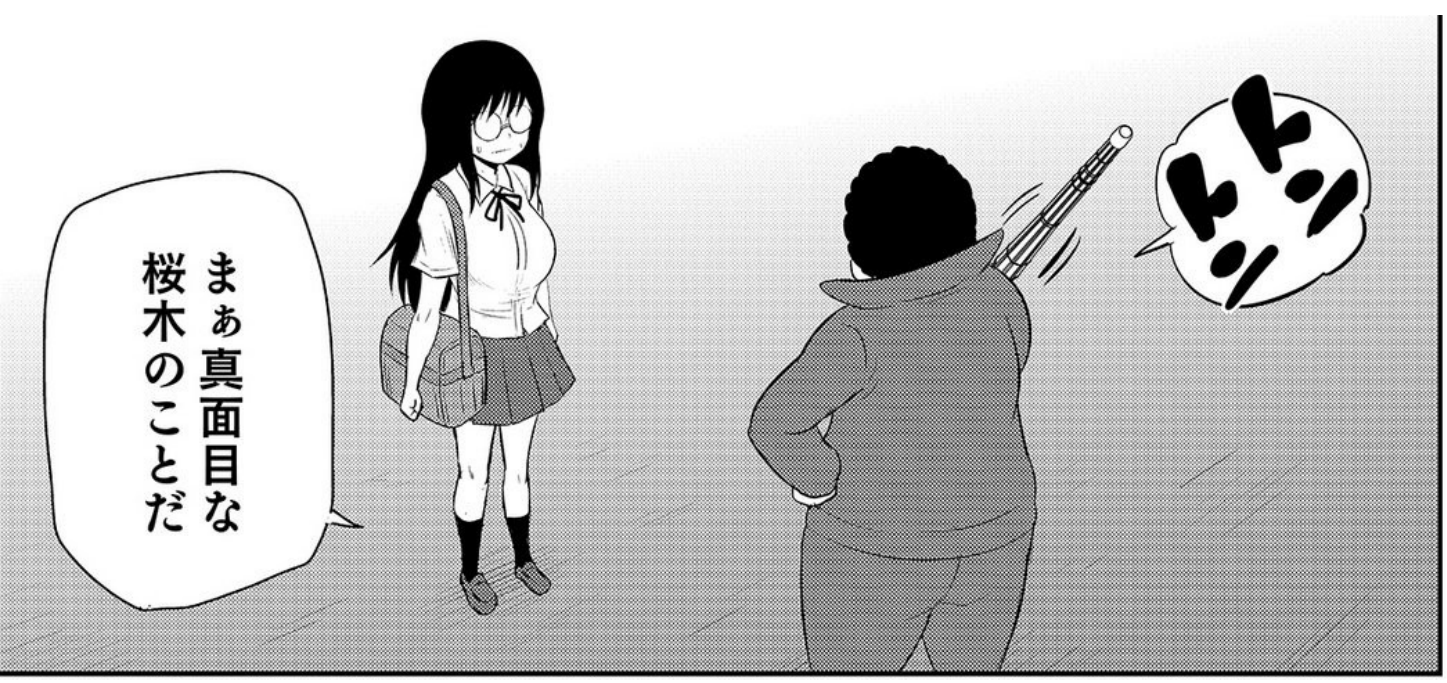




!!
……ッ

トンッ
…くくく
冗談だよ冗談

ホッ…
ぶ…無事…
だった…

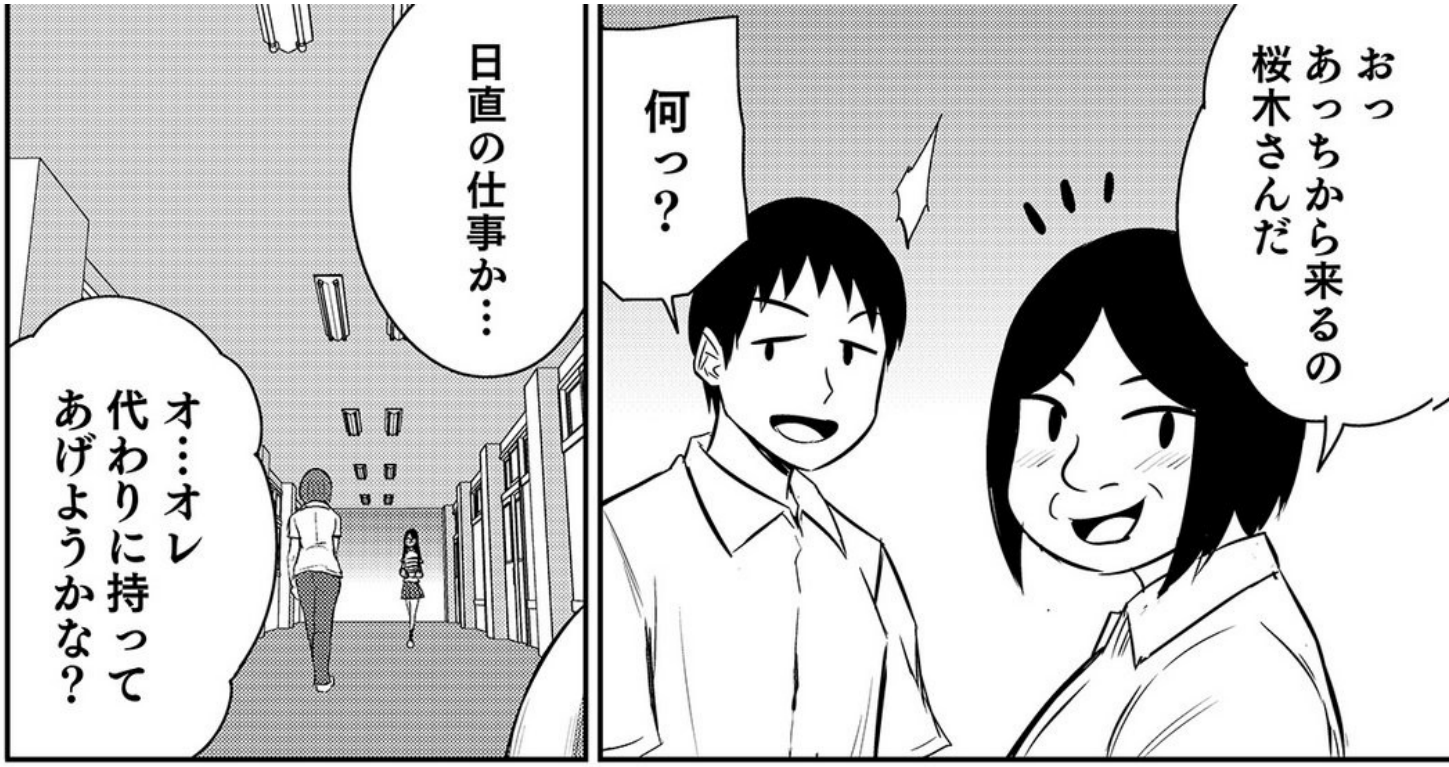

トン
トン
まぁ真面目な桜木のことだ

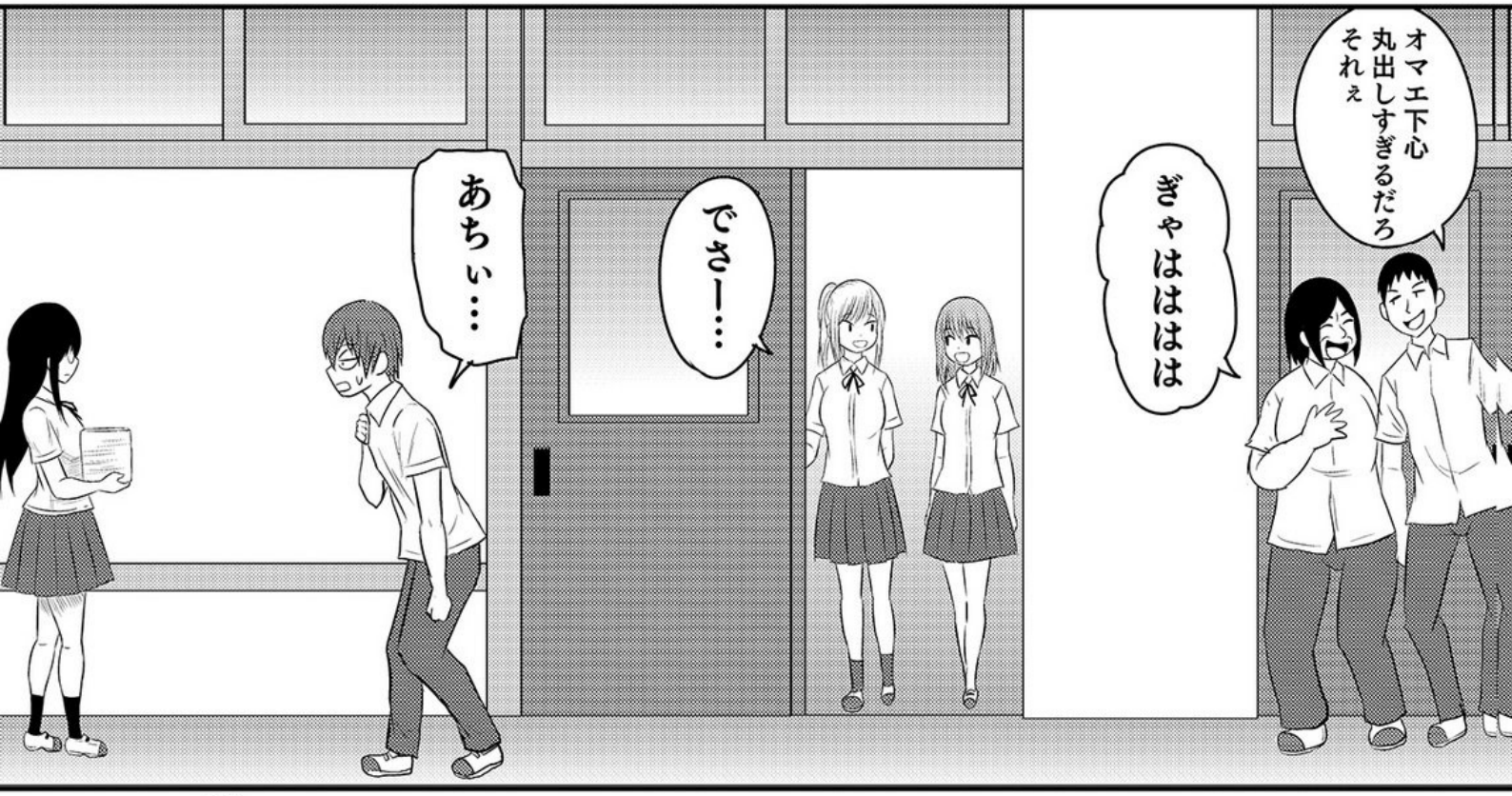

きっと校則も守ってるよな
は…はい…！

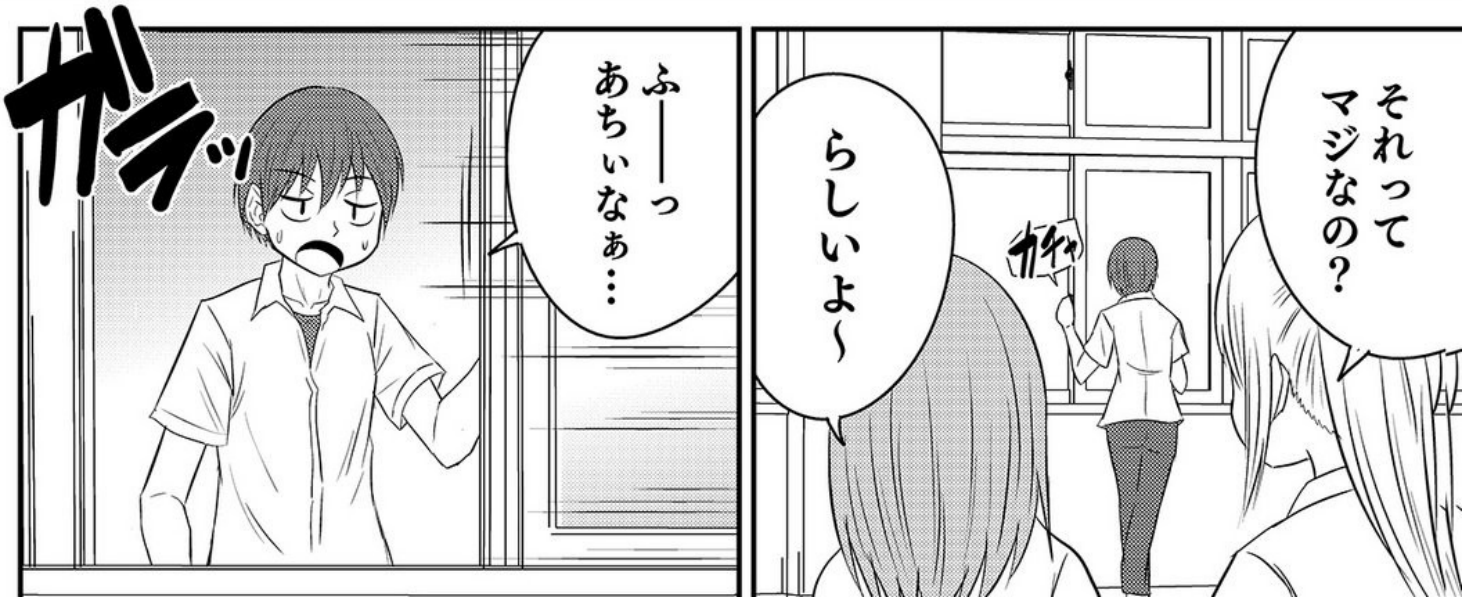

今日は見逃してやる
さあ行った行った
スス…


さっきは
本当に怖かった…！
はいてないのが
バレる
ところだった…
……
怖かった…
けど…
じゅく…
うずきが
止まらない…！
ふふふ…
こうやって
少しずつ興奮と
快感を覚えさせ
俺の命令を
心待ちにする
ような
ド変態にして
やるからな…！

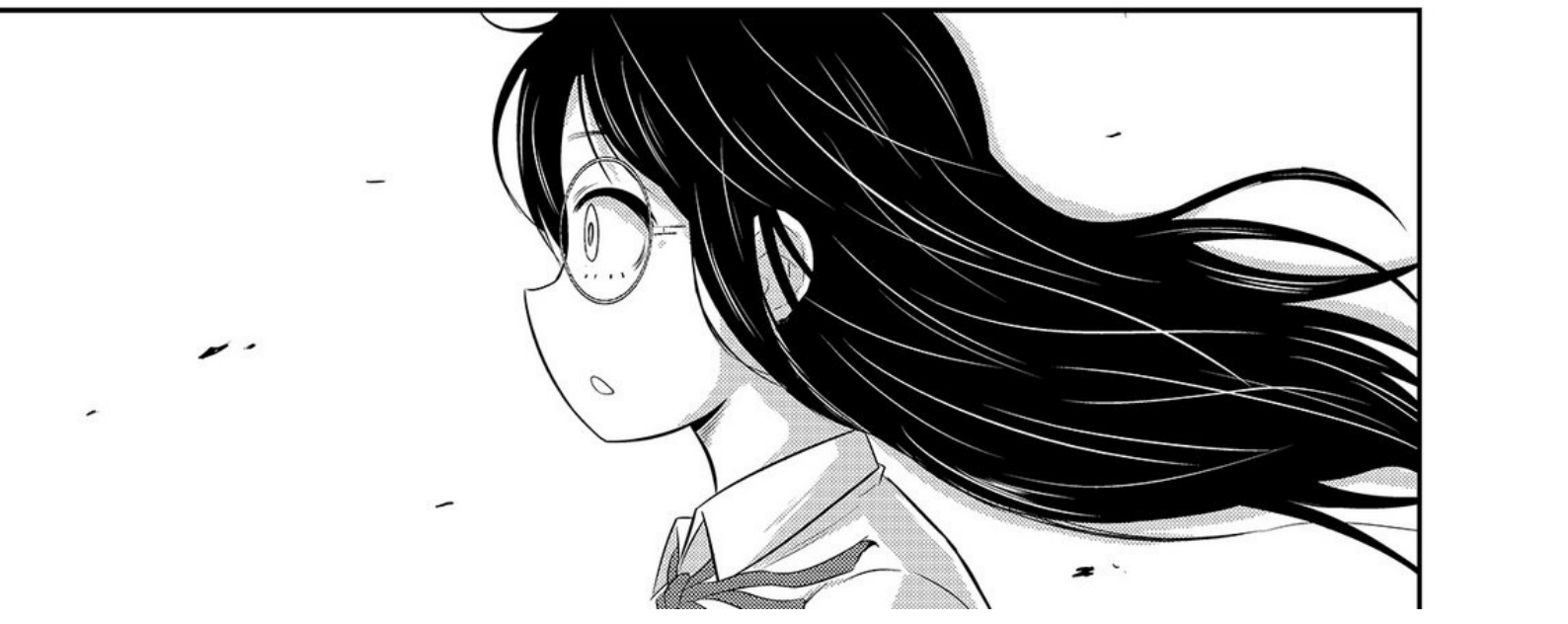

……
まさか今日日直だったなんて…！
はいてないからあんまり動きたくないのに…！
ああ…
スース…
下半身がスースーする…


おっ
あっちから来るの
桜木さんだ
何っ？
日直の仕事か…
オ…オレ
代わりに持って
あげようかな？


オマエ下心
丸出しすぎるだろ
それぇ
ぎゃはははは
でさー…
あちぃ…


それって
マジなの？
らしいよ～
ガチャ
ガラッ
ふ――っ
あちぃなぁ…


なにこの風っ
やだぁ
うわっ
きゃっ
おおっと





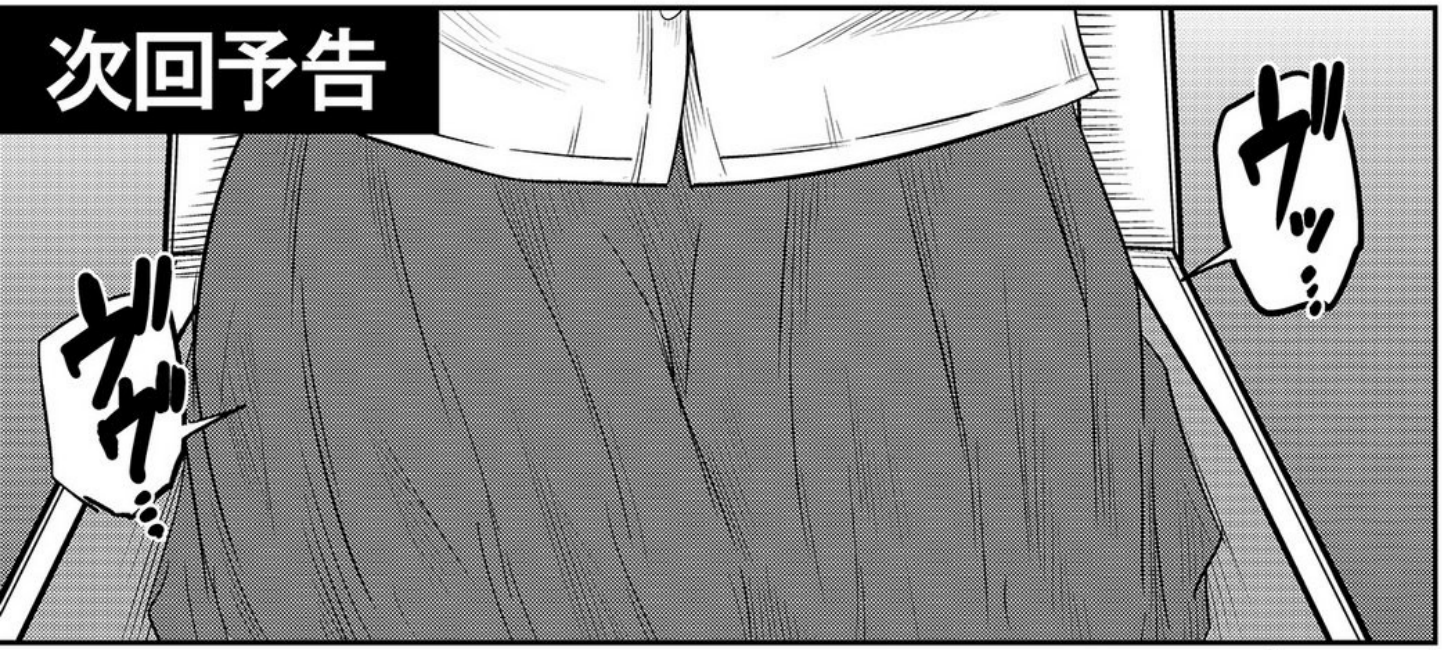



ドクン…
ドクン…
終わりだ…



次回第3巻へ続く！

次回予告





健一とのデート中にリモコンローターをつけることを強要された楓香は！？

巻末おまけ
表紙案

僕の彼女はNTRているのだろうか



僕の彼女はNTRているのだろうか



僕の彼女はNTRているのだろうか




僕の彼女はNTRているのだろうか

僕の彼女はNTRているのだろうか



僕の彼女はNTRているのだろうか【単行本版・特典付き】 2

漫　画　井口千太郎

原　作　田中静人/テラーノベル

発 行 所　有限会社グループ・ゼロ
〒203-0053
東京都東久留米市本町1-3-20 202
https://group-zero.jp/

本書の記事・画像の無断転載は固くお断りいたします。

©井口千太郎・田中静人/テラーノベル/グループ・ゼロ